2024 年度事業報告

（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

I.　概要

1　総括

2024 年度は、情報通信分野における標準化の推進と情報通信ネットワークの発展への引き続きの貢献のため、情報通信ネットワークに係る標準の作成、調査、普及等の活動を行った。

5 月には、IOWN Global Forum で検討された技術の国際標準化を行う IOWN GF 専門委員会を設立する一方、oneM2M への会員企業参加終了に伴い、oneM2M 専門委員会の活動を終了した。

10 月には、ニューデリー（インド）で開催された国際電気通信標準化総会（WTSA-24）に参加し、COM3（作業方法）議長、COM4（作業計画、組織）副議長として決議案の審議、決定に貢献した。

また、デジタルトランスフォーメーション（DX: Digital Transformation）の普及による情報通信技術（ICT: Information and Communication Technology）の活用の広がりや、企業の国際標準化活動への参加目的が、個々の技術の標準策定に留まらず、新たな市場開拓や付加価値創造等にまで広がっており、国際標準の議論の場が分野横断的なプラットフォームに位置づけられるようになっていることを踏まえ、業際分野での活動や他団体等との連携・協力活動に注力し、標準の作成にとどまらない戦略的な標準化活動に取り組んだ。

標準化人材育成については、2023年度に実施したキャパシティビルディングアドバイザリーグループ（CBAG）での次世代標準化人材育成の検討の具現化にむけて、産官学の有識者の知見を得ながら、標準化人材の類型化、標準化人材の役割、業務遂行に必要な知識・スキル等の整理・体系化に取り組んだ。

また、女性標準化活動者との意見交換会、APT の支援によるアジア太平洋地域の標準化人材育成研修、次世代の標準化人材のインターンシップによる支援等実施した。

この他、 TTA、Wi-SUN Alliance、Digital Twin Consortium（DTC）、ETSI 等様々な海外の標準化機関の来訪等を機に、MoU（Memorandum of Understanding）改定や意見交換会の開催など連携の強化を図った。

2　組織

2024 年度の組織構成は表 1 の通り。

表 1 組織

総会	TTC の正会員によって構成し、役員の選任、当該年度の貸借対照表、正味財産増減計算書の承認、定款の変更等を決定する。
理事会	TTC の役員で構成し、TTC の業務執行に関わる決定を行う。
評議会	標準の作成手続きを審査するほか、理事会が必要と認めた重要な事項について理事会の諮問に応じる。
表彰選考委員会	情報通信技術賞（総務大臣表彰、TTC 会長表彰）の候補者の選考を行い理事会に報告する。
事務局	TTC の円滑な業務遂行を支援する。
業際イノベーション本部	ICT 分野の活性化に資する業際的なイノベーションに関する動向調査、課題の発掘並びに戦略の検討を行う。
IPR 委員会	TTC 標準に係わる IPR に関する基本指針の制定、改定案の作成とそれらの理事会への付議、関連標準化機関等との IPR 分野における連携、国内外における IPR の動向に関する調査・研究等を行う。
標準化会議	情報通信ネットワークに係る標準の審議、情報通信ネットワークに係る調査及び研究等を行う。専門委員会で作成した標準案に対し、標準化会議委員が投票を行い提案の標準案の採否が決定される。
専門委員会	標準化活動を行う母体で、最新技術分野・テーマについて情報収集が議論の場を設けている。
企画戦略委員会	TTC の中期標準化戦略の策定、重点課題の設定、専門委員会の統廃合、および標準化団体との国際連携活動等、TTC の将来的な標準化活動戦略を立案する。
アドバイザリーグループ	重点課題を検討するための組織で技術調査と国際連携の2つのグループがある。

II. 事業報告

1　企画戦略

1.1　企画戦略委員会

1.1.1 会合開催状況

企画戦略委員会は、第 176 回から第 184 回の計 9 回の会議を実施。2025 年 1 月に開催した拡大形式の企画戦略委員会では、専門委員会の正副委員長およびアドバイザリーグループ（AG: Advisory Group）のリーダサブリーダ参加のもと拡大形式にて 2025 年度中期標準化戦略案の審議を実施（別紙 1）。

表 2 企画戦略委員会の開催状況

開催回	開催日	主な議題
第 176 回	2024/4/12	功労賞選考、2024 年度企画戦略委員会活動計画
第 177 回	2024/5/17	IOWN GF 専門委員会設立提案、 専門委員会活動状況ヒアリング項目、標準化人材育成検討
第 178 回	2024/6/21	IOWN GF 専門委員会設立・活動報告、 担当専門委員会・AG、企画戦略委員会の活動計画、 標準化会議予定
第 179 回	2024/7/26	専門委員会・AGの活動状況共有
第 180 回	2024/9/27	専門委員会・AGの活動状況共有を踏まえた対応検討、 ISO/IEC JTC1/SC6への対応、 標準化人材育成の取り組み共有
第 181 回	2024/10/28	ISO/IEC JTC1/SC6への対応、 TTAとの意見交換会について
第 182 回	2024/11/18	中期標準化戦略策定方針審議、 2025 年度事業計画トピックス案、 2025 年度表彰候補者
第 183 回	2024/12/18	フォーラム調査2024中間報告、2025年事業計画案
第 184 回	2025/1/29 （拡大形式）	2025年度事業計画案、2025年度専門委員会・AGの中期標準化戦略案、専門委員会活動状況の取りまとめ結果と今後の対応について

1.1.2主な活動成果

- Beyond5G 等の将来網への対応として、IOWN GF 専門委員会を設立し、2024年6月より専門委員会を開催し、活動を開始。
- 日本の専門家がいない ISO/IEC JTC1/SC6 の WG への対応として、企画戦略委員会での共有、関連する専門委員会へのヒアリングを実施し、情報規格調査会と連携（2024

年 10 月)。

- TTA と標準化人材育成・BSG の取り組み・標準化推進の最新の取り組み動向について意見交換を実施し、グローバルでの標準化活動推進にむけて連携を強化(2024 年 11 月)。
- 専門委員会へのヒアリング結果等を踏まえ、専門委員会を横断するテーマを取り上げ、掘り下げた検討活動を実施する方針を策定。

1.2 アドバイザリーグループ

1.2.1 技術調査アドバイザリーグループ

戦略的な標準化活動実現のため、海外の主要なフォーラム標準化活動の最新動向を調査、分析し、調査結果を「TTC フォーラム調査報告書(第 31 版)」として展開。2024年度はグリーン関連(GxDC)、AI 関連(AIRA)、量子通信関連(QED-C)、高性能イーサネット関連(UEC)の計4フォーラムを新規に調査対象に設定。

表 3 TTC フォーラム調査報告書(第 31 版)概要

対象フォーラム	71(調査終了 6, 新規 4)
注目分野	①IoT・スマートシティ ②5G、Beyond5G/6G ③コネクテッド・カー ④SDN/NFV ⑤デジタルツイン・メタバース
広報活動	企画戦略委員会および専門委員会に展開 ホームページ 2025 年 1 月 28 日公開 TTC レポート(2025 年春夏号)掲載予定

1.2.2 国際連携アドバイザリーグループ

- ITU-T TSAG(電気通信標準化アドバイザリーグループ)第 4 回会合(2024 年 7 月～8 月)における寄書提出、並びに対処方針審議等国内議論を推進。また TSAG 会合で議論された主なトピックスについて TTC レポート等を通じて国内にフィードバック。
- APT WTSA-24 準備会合第 3 回(2024 年 5 月)、第 4 回(2024 年 6 月)、第 5 回(2024 年 8 月)における寄書提出、並びに対処方針審議等国内議論を推進。

2 標準化活動

2.1 標準化会議

2.1.1会議開催状況

標準化会議は、第 146 回から第 150 回の計 5 回の会議を実施。第 146 回、第 147 回、第 149 回は電子投票にて標準の制改定手続きを行ったが、第 148 回は提出された標準案(新規、改定、廃止)は無かったため、中止。第 150 回は集会形式にて各専門委員会の 2025 年度中期標準化戦略を承認。

表 4 標準化会議の開催状況

開催回	開催形式	開催日
第 146 回	投票	2024/3/1-5/16
第 147 回	投票	2024/5/31-8/29
第 148 回	中止	
第 149 回	投票	2024/12/6-2025/2/20
第 150 回	集会(オンライン)	2025/2/28

2.1.2 主な活動成果

- 世界貿易機関(WTO)の TBT 協定(Agreement on Technical Barriers to Trade)を尊重し、標準案リストの Web 公開、標準案の提示から決定までの期間を 60 日間確保するなど公正性、中立性、透明性を配慮した標準の制改定手続きを行い、当年度は 3 件の標準制定、5 件の標準改定を実施(別紙 2)。
- 2025 年 2 月 28 日に開催した第 150 回標準化会議で、各専門委員会・AG の 2025 年度中期標準化戦略を承認。

2.2 専門委員会

2.2.1 構成

2024 年度は5つの部門、18 の専門委員会の構成で標準化活動を実施(別紙 3)。

表 5 専門委員会の構成

部門	専門委員会		統廃合状況
ICT 活用アプリケーション	マルチメディア応用専門委員会		継続
		電子情報健康管理 SWG(e-health-SWG)	
		アクセシビリティ SWG	
		ILE-SWG	
		マシンビジョン SWG	
	コネクテッド・カー専門委員会		継続
	BSG 専門委員会		継続
	IoT・スマートシティ専門委員会		継続
		ICT と気候変動 SWG	
プラットフォーム	AI 活用専門委員会		継続
	oneM2M 専門委員会		廃止(2024 年 4 月)
	セキュリティ専門委員会		継続

	企業ネットワーク専門委員会		継続
		企業網インタフェース SWG	
		消防指令システム SWG	
プロトコル・ NW 管理・品質	信号制御専門委員会		継続
		SIP SWG	
		NGN 信号アップストリーム SWG	
	網管理専門委員会		継続
		通信ネットワーク運用管理 SWG	
		通信サービス品質評価 SWG	
	番号計画専門委員会		継続
アーキテクチャ	Network Vision 専門委員会		継続
		NGN アップストリーム SWG	
		QoS アーキテクチャ SWG	
		NetSoft SWG	
	IOWN GF 専門委員会		設立（2024年5月）
	3GPP 専門委員会		継続
		サービス・システムアスペクト SWG	
		コアネットワーク SWG	
		無線アクセスネットワーク SWG	
	移動通信網マネジメント専門委員会		継続
トランスポート・ アクセス・エリア NW	IoT エリアネットワーク専門委員会		継続
		通信インタフェース SWG	
		サービスプラットフォーム SWG	
	伝送網・電磁環境専門委員会		継続
		装置機能・管理 SWG	
		多重分離インタフェースと網同期 SWG	
		情報通信装置の EMC・ソフトエラー SWG	
	アクセス網専門委員会		継続
		次世代光アクセス網 SWG	
		ハイブリッドアクセス網 SWG	
	光ファイバ伝送専門委員会		継続
		光ファイバシステム SWG	
		光ファイバファイバケーブル SWG	

2.2.2　会合開催状況

会合目的等に応じ、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式での開催が多数。

表 6　専門委員会・サブワーキンググループ（SWG）・アドホックグループ（AHG）の会合開催状況

専門委員会・SWG・AHG	回数
マルチメディア応用専門委員会	1
マルチメディア応用専門委員会　電子情報健康管理 SWG	1
マルチメディア応用専門委員会　アクセシビリティ SWG	1
マルチメディア応用専門委員会　ILE SWG	1
マルチメディア応用専門委員会　マシンビジョン SWG	8
コネクテッド・カー専門委員会	11
BSG 専門委員会	12
IoT・スマートシティ専門委員会	4
IoT・スマートシティ専門委員会　ICT と気候変動 SWG	1
AI 活用専門委員会	8
セキュリティ専門委員会	4
企業ネットワーク専門委員会	11
企業ネットワーク専門委員会　企業網インタフェース SWG	9
企業ネットワーク専門委員会　消防指令システム SWG	1
信号制御専門委員会　SIP SWG	4
網管理専門委員会　通信ネットワーク運用管理 SWG	3
網管理専門委員会　通信サービス品質評価 SWG	3
番号計画専門委員会	4
Network Vision 専門委員会　NGN アップストリーム SWG	6
IOWN GF 専門委員会	4
移動通信網マネジメント専門委員会	2
3GPP 専門委員会	4
IoT エリアネットワーク専門委員会	11
IoT エリアネットワーク専門委員会　サービスプラットフォーム SWG	11
IoT エリアネットワーク専門委員会　通信インタフェース SWG	11
伝送網・電磁環境専門委員会　装置機能・管理 SWG	5
伝送網・電磁環境専門委員会情報通信装置の EMC・ソフトエラーSWG	1
光ファイバ伝送専門委員会	2

光ファイバ伝送専門委員会 光ファイバケーブル SWG	1
アクセス網専門委員会	2
アクセス網専門委員会 次世代光アクセス網 SWG	3

2.2.3 主な活動成果

- 18 の専門委員会で標準化動向・新規標準化課題の調査、国際標準化機関への提案、TTC ドキュメントを作成（標準・仕様書・技術レポート・調査報告書）。
- 2024 年度の目標達成状況を含む 2025 年度中期標準化戦略を策定し、企画戦略委員会および標準化会議で承認（別紙 4）。
- ITU-T の各スタディグループ（SG: Study Group）における標準勧告の制定や FG における新規課題の発掘に貢献するため提出した寄書数や、TTC 標準等の制改定数は下表のとおり。3GPP への提案は、各パートナーシッププロジェクトに参加する TTC 会員より提案。

表 7 寄書・標準等制改定数

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
寄書数	104	126	98
最も貢献した専門委員会（数）	セキュリティ（25）	マルチメディア応用（27）	マルチメディア応用（22）
TTC 標準制改定	13	10	8
仕様書制改定	1,414	731	1,685
内 3GPP	1,389	728	1,682
技術レポート制改定	75	21	81
内 3GPP	55	6	74

- 詳細は別紙 5-1,5-2,5-3 を参照のこと。

2.3 IPR 委員会

2024年 12 月にIPR委員会を開催。標準必須特許（SEP）に関するルールや訴訟の状況について情報共有を実施。

3 業際イノベーション

3.1 業際イノベーションワーキングパーティ

分野横断的な活動として業際イノベーションワーキングパーティ（WP）を推進。以下の活動を実施。

- 高精細映像データ医療応用研究会
  - 8K内視鏡などの医療用高精細画像の色彩情報に関する標準化（ITU-T への寄書

提案）を目指し検討を継続実施。

- 一般社団法人メディカル・イノベーション・コンソーシアム、内視鏡・映像関係企業、放送関係者が参加し、議論の成果を ITU-T に提案に向けて検討を継続実施。
- 2024 年度は、会合を5回開催。

- BHQ（Brain Healthcare Quotient）
  - 脳の健康の維持・向上に向け、脳の MRI 画像をベースに脳健康状態を表す単位として開発された BHQ（Brain Healthcare Quotient）に関する情報交換、利活用事例の調査研究、実証実験、普及展開などを継続実施中。
  - ITU-T SG16 における脳情報プラットホーム（勧告化完了）のユースケース検討などでの連携。
  - 家電、食品、医療機器、日用品メーカなどの BHQ コンソーシアム会員企業が参加。
  - 2024 年度は、会合を 2 回開催。
  - 2024 年 12 月で活動終了。
- 健康・医療 IoT
  - ヘルスケアに関する議論の場として 2023 年 2 月に新規設立。
  - ECHONET と Continua Health Guideline などの相互運用性の要求条件および実装等に関する情報交換、調査研究。
  - 2024 年度は、1 回の会合を実施。
  - 2025 年度は TTC の専門委員会のサブワーキンググループ（SWG）として活動を継続することを検討中。
- メタバース標準化推進連絡会
  - メタバースに関する議論の場として 2023 年 2 月に新規設立。
  - 様々な標準化団体の情報が集まり情報の共有を行う場を作り、ITU-T FG-metaverse 等 の会議の情報の共有や日本からの提案の事前検討を行い、今後のメタバースの標準化・普及を推進。
  - 2024 年度は 4 回の会合を実施。
  - ITU-T の各 SG で標準化に向けた検討が開始されることになるため、本連絡会は 2025 年度も引き続き国内の情報共有の場として活動を継続する予定。
- SPE コンソーシアム
  - SPE コンソーシアム内外のメンバーによる標準化活動の場として 2024 年 3 月に設立。2024 年 4 月より活動開始。
  - 2024 年度は 12 回の会合を実施。
  - 8 月には、TTC と共催でセミナー「Single Pair Ethernet（SPE）の最新技術動向」を開催。

3.2　スマート IoT 推進フォーラム

IoT・ビッグデータ（BD）・人工知能（AI）等の技術の発展により、グローバルに、あらゆる分野で、その産業・社会構造が大きく変革しつつあることを踏まえ、IoT 等に関する技術の開発・実証を推進するなど、産学官を挙げて新たな時代の変化に挑戦することを目的として 2015 年 10 月に設立された「IoT 推進コンソーシアム」の下に、IoT 関係の技術開発・実証を推進する技術開発ワーキング・グループとして設置されたフォーラム「スマート IoT 推進フォーラム」の事務局運営支援として以下の活動を実施。

技術・標準化分科会

- IoT 通信技術に関する国内外の動向把握と技術・標準戦略、普及展開戦略の検討等を実施。
- 2024年度は、分科会会合を 11 回開催。
  3 つのタスクフォースにて、IoT 情報モデルの検討、エリアネットワーク運用管理規定の検討、センサ情報を使用したインフラ構造物の維持管理に関する検討を推進中。また「インフラモニタリングなど IoT における NTN・衛星通信活用ワークショップ」と題したセミナーを開催、参加者は延べ 280 名超。

テストベット分科会

- IoT・ビッグデータ（BD）・人工知能（AI）等に関する、技術実証・社会実証を促進するテストベッドの要件とその利活用促進策の検討を行うことを目的とし、分科会、コアメンバー会議、各種検討会にて活動。
- 2024 年度は、分科会会合を 1 回開催。

IoT 価値創造推進チーム

- 各部会・分科会等の活動状況を踏まえた組織横断的な取組みの推進、及び会員向けサービス拡充に向けた取組みの推進。
- 2024年度は、チーム会合を 1 回開催。
  主な実績は、IoT 導入事例紹介（12件）、メールマガジン配信（7件）、会員向け情報発信（33件）、イベント後援等（3件）。

4　他団体等との連携・協力

4.1　国際

国際連携アドバイザリーグループを中心に、他の国際標準化機関・団体等との協力、連携強化のための活動を実施。また ITU-T TSAG や APT WTSA-24 準備会合における対応を含め、WTSA-24 に貢献。

4.1.1　ASTAP（Asia-Pacific Telecommunity Standardization Program）第 36 回会合

- 岩田専務理事（ASTAP 副議長）が主担当となりインダストリーワークショップを開催。ワークショップ内パネルセッション（国内標準化体制構築）に参加。

4.1.2　APT (Asia-Pacific Telecommunity) WTSA-24 準備会合

- 2024 年 5 月に第 3 回、6 月に第4回、8 月に第5回 APT WTSA-24 準備会合が開催。NTT 山本氏(TTC APT-WTSA 対応 TF リーダ)が WG1(作業方法)の議長、NEC 永沼氏(同 TF サブリーダ)が WG2(組織構成)の副議長、KDDI 本堂氏(TTC 国際連携 AG サブリーダ)がWG3(規制/政策と標準化関連事項)の副議長として対応し WTSA へ提出する 45 件の ACP(APT Common Proposal)の決定に貢献。また岩田専務理事が APT WTSA 副議長として会議運営に貢献。

4.1.3　第 4 回 TSAG 会合

- 2024 年 7 月～8 月に第 4 回 TSAG 会合が開催。NEC 永沼氏(TTC TSAG TF リーダ)が TSAG 副議長および RG-WPR のラポータとして ITU-T 次会期に向けた SG 再編(SG9＆16 統合)アクションプランの議論およびとりまとめをリード。

4.1.4　ITU-T WTSA-24 会合

- 2024 年 10 月に WTSA-24 がインドのニューデリーにて開催。KDDI 宮地氏(SG9 議長)が COM3(作業方法)議長、NEC 永沼氏(TSAG 副議長)が COM4(作業計画、組織)副議長として決議案の審議、決定に貢献。また本会合にて、次期会期(2025-2028)の SG 議長・副議長として、NICT 釼吉氏(SG11 副議長)、KDDI 磯原氏(SG17 副議長)、KDDI 河村氏(SG21 副議長)が新任で選出(SG21 は SG9 と SG16 の統合後の新 SG)。

4.1.5　CJK 会合

- 2024 年 7 月、敦煌(中国)で第18回 CJK IT Standards Meeting (CJK-18 会合)が開催。TTC からは主に標準化人材の状況及び Capacity Building Framework について説明を実施。

4.1.6　TTA(韓国情報通信技術協会)

- 2024 年 6 月、人材育成をテーマに標準化人材育成の取り組みについて意見交換及び TTA・TTC 共催ワークショップを開催。
- 2024 年 11 月、標準化活動の相互連携強化のための MoU の改定に調印するとともに、TTA の国際連携のメンバ、TTC の標準化会議議長、BSG 専門委員会委員長を含め、標準化人材育成の取り組み、標準化委員会の管理や運用、BSG(標準化格差解消)の取り組みについて意見交換を実施。

4.1.7　Wi-SUN Alliance

・　2024 年 9 月、Wi-SUN Alliance の Phil Beecher 会長を迎えて、TTC と Wi-SUN Alliance との間で標準化組織間の協調、連携を推進するための改定 MoU を締結。

4.1.8　Digital Twin Consortium（DTC）

・　Digital Twin Consortium （DTC）会長 Said Tabet 氏の訪問（2024 年 10 月）を受け、日本 OMG との共催セミナー「デジタルツインのグローバル技術動向＆活用事例」（2025年 2 月）において、DTC からのデジタルツインの最新技術動向等に関する紹介を実施。

4.1.9　ETSI（欧州電気通信標準化機構）

・　2024 年 10 月、ETSI 事務局長（Director-General）の Jan Ellsberger 氏らが来訪し、相互の標準化体制、標準化人材育成活動等について情報を交換。特に標準化人材育成については連携を進めることで意見が一致。

4.2　国内

産業や技術分野を横断した取り組みが欠かせない協調領域において、産学官の橋渡し役として標準化活動を推進し、日本の産業の国際競争力強化に貢献することを目的に活動。限られた国内リソースの効率的な活用及び国内一体での標準化活動の推進のため、ITU と ISO/IEC JTC 1 とのリエゾン等の国際標準化団体間の連携を国内標準化団体間でも取り入れた活動を推進。他団体等との連携成果や意見交換の場として共催セミナーを開催。2024 年度は計 8 団体との共催セミナーを実施。

主な連携活動事例は以下のとおり。

・　XGMF推進活動

「5GMF」「Beyond5G 推進コンソーシアム」が2024年3月末で発展的に終了し、両組織を統合したXGMF（XGモバイル推進フォーラム）が4月に設立。TTC は、この新たなフォーラムに特別会員として参画しており、今後ネットワーク系のWG等が設置された場合に事務局を担当して推進する予定。

・　情報処理学会、情報規格調査会

日本の専門家がいない ISO/IEC JTC1/SC6 の WG への対応協力依頼を受け、TTC の関連専門委員会と連携して対応を実施（2024 年 10 月）。

情報処理学会、情報規格調査会とともに宇宙×ICT をテーマとしたセミナーの共催を実現（2025 年 1 月）。

・　量子フォーラム
2020 年 4 月に協力関係に関する覚書を締結。ITU-T、ETSI、ISO/IEC JTC1 等での量子暗号の国際標準化活動で連携。2024 年11月に、量子フォーラム、TTC 共催オンラインセミナー「未来のセキュリティを切り拓く一量子鍵配送とその周辺技術の最新動向一」を開催。

・　情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）、HATS 推進フォーラム
情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）と共同で、コネクテッド・カー技術を災害時に利用した情報通信システム（V-HUB）の利活用に向けたガイドラインを作成。災害時のコネクテッド・カー利用について、実際に社会実装・実証している事例を紹介するセミナー「コネクテッド・カー　防災、消防システム等の新たな取り組みが効率的に連携するための最近の取り組み」を 2025 年 3 月に CIAJ と共催。

・　電子情報通信学会通信ソサエティ　RISING 研究会
ITU-T 主催の、通信領域の AI 活用に関する研究と実践の 2024 年版国際大会（AI/ML in 5G Challenge）にて上位表彰されたチームによるリモートワークショップ「第 5 回 ITU AI/ML in 5G Challenge 受賞者による AI 活用研究の発表について」を電子情報通信学会 通信ソサエティ RISING 研究会と共催（2024 年 11月）。

5　調査

5.1 デジュール及びフォーラム標準に関する標準化活動の推進に資する調査等（総務省からの請負）を以下の内容で実施。

・　ITU-T、APT の標準化活動について WTSA-24、TSAG、ASTAP 等の会合に参加して調査を行うとともに、ITU-T の SG、FG 活動を分析し、標準化活動の在り方を提言。また、標準化教育テキストの更新、標準化人材育成セミナーを実施（2025 年 2 月。6 人材育成を参照）。

・　WTSA-24 に向けた対応として、6 つの ITU-T 及び APT の会合に出席し、日本の寄与文書及び外国寄与文書等に係る審議において、他の参加者からの質疑への応対、外国寄与文書に対する質疑、反論及び支持の表明、議論への参画等の対応とともに、日本代表団に対する専門的見地から支援し、これら結果をとりまとめ。対応を行った会合は以下のとおり。

参加会合	時期及び開催地
ITU-T SG16 会合	2024 年 4 月 15 日～26 日、フランス
APT-WTSA 準備会合第 3 回	2024 年 4 月 30 日～5 月 2 日、カンボジア
APT-WTSA 準備会合第 4 回	2024 年 6 月 25 日～28 日、オーストラリア

ITU-T SG20 会合	2024 年 7 月 1 日～12 日、スイス
ITU-T TSAG 会合	2024 年 7 月 29 日～8 月 2 日、スイス
APT-WTSA 準備会合第 5 回	2024 年 8 月 19 日～23 日、タイ

・ 国際標準化の強化に関する支援活動の一環として、業際イノベーションワーキングパーティ（WP）の活動を支援（3.1 業際イノベーションワーキングパーティを参照）。
・ 国際標準化活動に必要な知識・スキル等の体系的な整理及びフレームワークの作成等のため、我が国の ITU-T の議長・副議長（今会期と前会期）11名に対して、ヒアリング調査（事前アンケートを含む）を実施（5.2 の請負事業と連携）。

5.2 情報通信・デジタル分野における国際標準化（ルール形成）活動の持続的推進を支える人材基盤の強化に資する標準化人材の役割・業務・知識・スキル等の体系的整備等（総務省からの請負）を以下の内容で実施。

・ 国際標準化（ルール形成）スキル検討作業会合の設置・運営（全 5 回）
国内外の企業、大学における標準化人材に関する知識や経験を有し、標準化活動を取り巻く社会変化に対応する人材の育成に関与する有識者を構成員とする会合を設置・運営。
・ 国内外におけるスキルセット及びこれに相当又は関連する取組等に関する調査・分析
①文献調査：国内外の標準化活動に関わる人材のスキルセット、スキルマップ、スキル標準、キャリアロードマップ等の情報、それらを体系的に整理した事例を収集。
②ヒアリング調査：スキルセットの要件（企業が利用する際に望むスキルセットの記載項目や内容、スキルセットの提供形式など）に関し調査を実施。
・ スキルセットの検討・作成・整理
文献調査・ヒアリング結果を踏まえ、人材の役割、業務、知識、スキル等を洗い出し、その関係性を体系的に整理。

6 人材育成

・ 韓国の標準化団体である TTA とのグローバルパートナーシップの活動として、日韓の標準化の推進における共通課題をテーマとした共催ワークショップ「Collaborative workshop on next-generation experts and key ICT issues（AI/Metaverse）～新興技術における国際ルール形成の課題と次世代のルールメイカー育成 ～」を実施（2024 年 6 月、ソウル（韓国））。
・ BSG 専門委員会とカセサート大学の共催により、“The Climate-Resilient AgriTech Innovation Challenge: Adapting Agriculture for a Sustainable Future”（気候変動に強い農業技術革新への挑戦： 持続可能な未来に向けた農業の適応）のアイディアソンを開催（2024年 11 月、バンコク（タイ））。

・ 5G ネットワークを含む将来ネットワークにおける AI/ML（人工知能/機械学習）の適用方法を検討する国際的なコンテストの第 5 回 ITU AI/ML in 5G Challenge が開催。日本ラウンドの後援および受賞者発表会を RISING 研究会と共催で実施（2024 年 11 月29日）。FG-ML5G の成果物をベースに作成された AI/ML 関連勧告の有効性検証と新たな標準化検討の方向性を推進支援する機会を提供。
・ アジア・太平洋電気通信共同体（APT: Asia-Pacific Telecommunity）が日本の特別拠出で実施する 2024 年度の研修コースに TTC から提案した2件が採択。「標準化の専門家の育成と新興技術動向の紹介」（2024 年 12 月）及び「ジェンダー格差解消と地域課題解決のためのモバイルソリューションアーキテクトの養成のためのワークショップ」（2025 年 2 月）を開催。
・ 標準化活動初心者に有益な教育ツール提供を目的として、標準化ノウハウを蓄積した手引書の継続的更新と標準化テキストを活用した人材育成プログラムを継続して実施。標準化人材育成オンラインセミナー「国際標準化会合の参加に向けて」を開催（2025 年 2 月）。
・ 若手標準化人材を対象とする「情報通信技術標準化奨励賞」を創設。2025 年度の受賞候補者を公募（2024 年 11月～2025 年1月）。

7 普及・広報

7.1 TTC 標準・仕様書等の発行

・ 2024 年度の TTC 標準類ダウンロード数は 116,634 件で昨年より増加。
・ 専門委員会別では信号制御専門委員会がもっとも多く、3GPP 専門委員会、 伝送網・電磁環境専門委員会が続き、去年のダウンロード数より増加。

表 8 TTC 標準類ダウンロード数

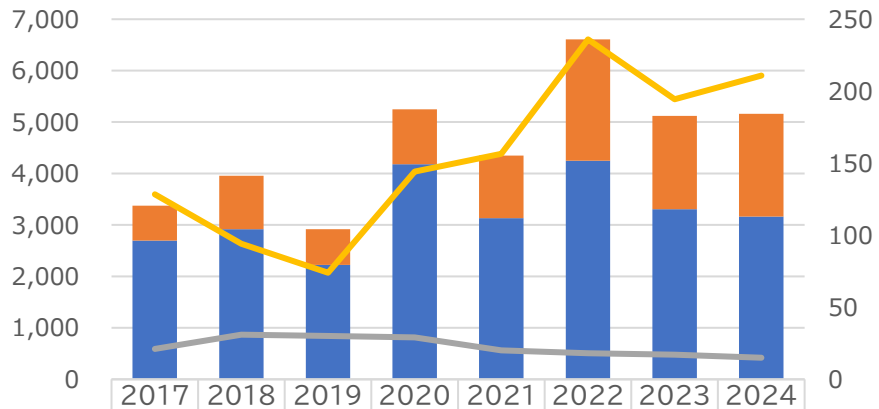
	2022年度	2023 年度	2024 年度
累計	85, 476	96,970	116,634
TOP20 合計	28,874	24,922	25,917
月平均	7,123	8,080	9,719
専門委員会別 TOP3	信号制御（21,898）	信号制御（22,046）	信号制御（22,307）
	伝送網・電磁環境（17,770）	伝送網・電磁環境（17,349）	3GPP（18,607）
	マルチメディア応用（8,314）	3GPP（10,862）	伝送網・電磁環境（17,499）

詳細は別紙 6 を参照のこと。

7.2　セミナーの開催

セミナーを専門委員会等での活動成果報告等の普及活動の他、新たなテーマの発掘、活動者の呼び込みとして活用。また他組織連携や会員へのサービス向上等の関係強化として開催。2024年度は全 15回のセミナー実施。最も参加人数の多いセミナーで 478名が参加。1回あたりの平均参加人数は 211 名、TTC の活動の普及に貢献。

表 9　セミナー等実施回数と参加者の推移



	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
会員外	677	1,039	696	1,067	1,218	2,358	1,815	1,998
参加者数	2,696	2,915	2,221	4,179	3,130	4,248	3,305	3,162
回数	21	31	30	29	20	18	17	15
セミナー1回あたりの参加者数	128.4	94.0	74.0	144.1	156.5	236.0	194.4	210.8

表 10　2024 年度参加者人数上位3セミナー

No.1	IPSJ・TTC 共催セミナー「宇宙×ICT をデータ処理と通信、標準化の視点から」(2025/1/17)	478 名
No.2	TTC セミナー「生成 AI の適用による技術イノベーション」(2024/4/18)	331 名
No.3	TTC セミナー「高速大容量通信を支える光通信システム技術の最新動向」(2024/5/24)	300 名

詳細は別紙 7-1 を参照のこと。

7.3　Web サイトや機関誌等による情報発信

7.3.1　Web サイト

会員以外も含めた情報発信のツールとして内容の充実化に継続的に取り組んだ。また掲載内容の最新化のための更新ルール等を整理。

表 11　2024年度 Web サイト掲載情報

コンテンツ	内容	件数
トピックス	5 つのカテゴリー(①お知らせ、②イベント、③募集案内、④標準類制定、寄書審議、⑤ブログ)に分けて、タイムリーに情報を掲載。	65 件
ブログ	岩田専務理事による国際会合の速報や標準化活動の解説、紹介等の情報発信。	12 件
セミナー・イベント動画アーカイブ	2024 年度に開催したセミナーのうち講演者の許可が得られたものについてセミナーの記録動画をアーカイブとして会員向けに公開。	9 件

7.3.2　機関誌(TTC レポート)

会員向けにTTCレポートを年４回発行(2024年４月、７月、10月、2025年１月)。ICT の他産業・分野への応用など特集記事を展開。

7.3.3　メール配信

TTCからの各種案内メールを登録者向けに配信。毎月初めにマンスリーレポートとして、月ごとの活動状況等を配信する他、セミナー等のイベント案内や、TTC 会員向けにはブログや TTC レポートの更新情報を随時配信。

7.4　関連団体主催セミナーへの後援・協賛・協力

・　関連する他団体等が主催するセミナー・ワークショップについて、6 件の後援・協賛を通じ連携を強化（別紙 7-2）。
・　4 件の展示会等へ後援・協賛・講演を実施（別紙 7-3）。

8　表彰

・　2024 年度の TTC 表彰について、表彰選考委員会を開催し、公募で応募のあった中から、情報通信技術賞の対象者を選考（2024 年 5 月）。理事会（2024 年 5 月）での審議等を経て、受賞者を決定。2024 年度情報通信技術賞・功労賞表彰式及び感謝状贈呈式（2024 年 6 月）にて TTC 会長表彰（5 名）、功労賞表彰（15 名、1 団体）、感謝状（2 名）の受賞者を表彰（別紙 8）。
・　若手標準化人材を対象とする情報通信技術標準化奨励賞を創設するとともに、情報通信技術賞の選考基準を見直し（2024 年5月）。新たな表彰制度の下で、2025 年度の両賞の受賞候補者を公募（2024 年 11月～2025 年1月）。

9　業務運営状況

9.1　規程等の整備

契約職員の制度整備、及び旅費規程の見直し等を実施。2024 年中の規程等の制改定等の状況は、次のとおり。

項目名	決定等
表彰規程の一部改定	第 230 回理事会 （2024/5/29）
評議会規程の一部改定	第 235 回理事会 （2025/2/27）
契約職員就業規則の制定	
就業規則の一部改定	
テレワーク勤務規程の一部改定	
フレックスタイム制運用規程の一部改定	
職員給与規程の一部改定	
退職手当規程の一部改定	
職員給与規程等中別に定める額等に関する件の一部改定	
役付きの職にある職員の給与及び退職手当に関する規程の一部改定	
事務局組織規程の一部改定	
旅費規程の一部改定	

9.2　会議等の実施

2024 年度の総会、理事会、評議会の実施状況は、次のとおり。

表 12　総会、理事会、評議会の実施状況

会議名	実施日	主な議題
第 56 回評議会	2024/5/29	・2023 年度標準作成状況について
第 230 回理事会	2024/5/29	・2023 年度事業報告及び附属明細書について ・2023 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書について ・役員候補の推薦について ・表彰規程の一部改定について ・2024 年度情報通信技術賞等について ・oneM2M からの退会について
第 63 回定時総会	2024/6/18	・2023 年度事業報告及び附属明細書の件 ・2023 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにそれらの附属明細書の件 ・役員選任の件
第 231 回理事会	2024/6/18	・会長、専務理事の互選について
第 232 回理事会（書面）	2024/7/23 ～7/31	・評議会委員の選任について ・表彰選考委員会委員の選定について ・Wi-SUN アライアンスとの MoU 改定について ・入会の承認について
第 233 回理事会（書面）	2024/9/26 ～10/4	・企画戦略委員会委員の選任について ・入会の承認について
第 234 回理事会（書面）	2024/11/12 ～11/20	・TTAとの MoU 改定について
第 235 回理事会	2025/2/27	・2025 年度事業計画について ・2025 年度収支予算について ・標準化会議議長の承認について ・評議会規程の一部改定について ・契約職員就業規則の制定及び関連規程の一部改定について ・旅費規程の一部改定について

9.3　会員及び財務

- 財務面では、会費口数が計画口数を下回ったが、調査研究受託収入が計画を上回ったこともあり黒字決算を実現。
- 会員数及び会費口数の増加に向けて、専門委員会等の活動報告や新規標準化テーマに関するセミナーを開催。標準化活動の広報・普及に努力。
- ホームページからの情報発信、会議室の環境整備など、会員数及び専門委員会登録数の増加に向けた施策を強化するとともに、経費削減に向けたきめ細かな取り組みを実施。

表 13　2024 年度における会員の推移

会員種別	2023 年度末	2024 年度末	2024 年度における変動
正会員	76	77	入会 2 社、退会 1 社
準会員	0	0	
賛助会員	13	10	入会 1 社、退会 4 社
協力会員	11	10	退会 1 社
合計	100	97	

表 14　2024 年度における専門委員会登録数の主な推移

専門委員会	変動
IOWN GF	新規登録 11 社
マルチメディア応用、IoT・スマートシティ、3GPP	新規登録 1 社
コネクテッド・カー	新規登録 1 社、退会 2 社
網管理、伝送網・電磁環境、IoT エリアネットワーク	退会 1 社
Network Vision	退会 2 社
AI 活用	退会 3 社
oneM2M	退会 7 社

9.4　運営改善

- 多様な人材の活用を図るため、有期雇用契約で勤務する者（契約職員）に関する制度及び旅費規程を整備（2025年2月）。
- ワーク・ライフ・バランスの実現と、事務局運営の円滑化・効率化を促進するため女性活躍推進法に基づき策定した行動計画について、2023年度に引き続きノー残業デー及び有給休暇取得促進を実施。
- 事務局職員の勤務について、シフト勤務や在宅勤務に加え、2024 年4月よりフレックスタイム勤務を導入するなど、事業運営への柔軟な対応を実現。
- 円安、ホテル代の高騰など国内外の経済情勢の変化に対応するため、旅費制度を見直し（2025 年2月）。

・ 3GPP 専門委員会の活動を通し、四半期ごと進めている TTC 標準仕様の作成（ダウンストリーム作業）等において、これまで手作業で行ってきた作業に対し、自動化ツール等の運用を継続的に改良し、人為エラーの回避と工程時間の大幅な短縮を実現。

III. 附属明細書

2024 年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項は特にないので、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書として記載すべき事項はなし。

別紙 1

（1）企画戦略委員会　委員長・副委員長・委員一覧

役　職	氏　名	会員名
委員長（標準化会議議長）	吉　兼　　昇	KDDI 株式会社
副委員長（標準化会議副議長）	古　川　　聖	日本電信電話株式会社
委　員	相川　慎一郎	富士通株式会社
委　員	神保　光子	日本電気株式会社
委　員	張　　亮	ソフトバンク株式会社
委　員	中村　信之	沖電気工業株式会社
委　員	畑中　芳隆	株式会社 NTT ドコモ
委　員	原　美永子	日本電信電話株式会社
委　員	三　宅　　滋	株式会社日立製作所
委　員	渡辺　伸吾	KDDI株式会社

（2）部門・専門委員会・AG の担当企画戦略委員

部　門	専門委員会・AG
ICT 活用アプリケーション： 相川、三宅、神保、畑中	・マルチメディア応用：相川 ・コネクテッド・カー：三宅 ・BSG：神保 ・IoT・スマートシティ：畑中、神保
プラットフォーム： 相川、三宅	・AI 活用：相川 ・セキュリティ：三宅 ・企業ネットワーク：三宅
プロトコル・NW 管理・品質： 原、中村	・信号制御：原 ・番号計画：原 ・網管理：中村
アーキテクチャ： 原、渡辺、畑中	・Network Vision：原 ・IOWN-GF：渡辺 ・移動通信網マネジメント：畑中、渡辺 ・3GPP：畑中、渡辺
トランスポート・アクセス・エリア NW： 中村、張	・IoT エリアネットワーク：中村 ・伝送網・電磁環境：張 ・光ファイバ伝送：張 ・アクセス網：張
アドバイザリーグループ： 神保、三宅	・国際連携：神保、三宅 ・技術調査：神保、三宅

別紙２

（1）標準化会議の審議経過

内　容	標準化会議回数			
	第 146 回	第 147 回	第 148 回	第 149 回
標準案の周知	2024.3.1 （Web 公開）	2024.5.31 （Web 公開）	2024.9.6 付議する案件が 無かったため中止	2024.12.6 （Web 公開）
標準案説明会	中止 （注 1）	中止 （注 1）	―	中止 （注 1）
標準案に対する 意見・対案の募集	2024.3.1 ～ 2024.3.24	2024.5.31 ～ 2024.6.21	―	2024.12.6 ～ 2025.1.10
対処方針の 周知（1 回目）	中止 （注 2）	中止 （注 2）	―	中止 （注 2）
対処方針に対する 意見・対案の募集	―	―	―	―
対処方針の 周知（2 回目）	―	―	―	―
票決実施の 議長決定周知	2024.4.19 （E-Mail）	2024.7.19 （E-Mail）	―	2025.2.7 （E-Mail）
電子投票実施	2024.5.10 9:00 ～ 2024.5.16 15:00	2024.8.23 9:00 ～ 2024.8.29 15:00	―	2025.2.14 9:00 ～ 2025.2.20 15:00

【内容欄の説明】

標準案の周知：標準案に対する意見および対案の提出依頼および IPR 声明書の提出依頼。

標準案説明会：原則として「標準案に対する意見・対案の締切日」までに開催。

対処方針の周知：意見・対案に対し、当該専門委員会として対処方針を示す。

（注 1）：標準案説明会を案内したが、参加希望者が 0 名だったため、説明会は中止

（注 2）：標準案に対する意見・対案の提出がなかったため中止

（2）2024 年度標準の制改定件数および意見・対案の提出状況

標準化会議（投票締切日）	標準作成状況（注1）			意見・対案の提出状況（件数）							
				標準化会議委員提案				専門委員会自主提案			
				技術内容に関するもの		記述形態に関するもの		技術内容に関するもの		記述形態に関するもの	
	新規	改定	廃止	提案	採用	提案	採用	提案	採用	提案	採用
第 146 回（2024.5.16）	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 147 回（2024.8.29）	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 148 回（中止）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第 149 回（2025.2.20）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（注 1）本表に記載の「改定」以外に、単なる誤記訂正等、技術的内容には変更が無い改定は当該専門委員会での承認のみで改定版の制定が行えるので、その数値は本表には含まれていない。

（3）制改定及び廃止した標準等の年度別の件数推移

以下の標準類の制改定数と廃止数には、標準類の英訳版（（E）標記のドキュメント番号の標準類）、および標準の単なる誤記訂正による改定は含めていない。

① 標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移（3PPP/3GPP2 以外）

区分	年度	2020	2021	2022	2023	2024
標準	制定	10	10	6	3	3
	改定	15	6	7	7	5
	廃止	0	0	0	0	0
仕様書	制定	2	0	23	1	0
	改定	2	3	2	2	3
	廃止	0	0	0	0	0
技術レポート	制定	2	5	16	6	3
	改定	1	4	4	8	4
	廃止	0	0	0	0	0

（参考）2024 年度英訳版：改定１件

② 3GPPおよび3GPP2の標準類の年度別「制定・改定・廃止」件数推移

区分	年度	2020	2021	2022	2023	2024
仕様書	制定	1,252	704	1,389	728	1,682
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	0	0	0	0	0
技術レポート	制定	40	1	55	6	74
	改定	0	0	0	0	0
	廃止	0	0	0	0	0

③ TTC 標準類の累積件数（3GPP/3GPP2 を含む 2024 年度累計）

	年度	2020	2021	2022	2023	2024
標準類	標準	907	917	923	926	929
	仕様書	15,782	16,486	17,826	18,627	20,309
	技術レポート	679	685	749	758	846

④ TTC 標準類英訳版の制改定及び廃止（参考）

種別	専門委員会名	年月日	制改定及び廃止した標準類の番号とタイトル
標準	信号制御	2024.5.16	JJ-90.30(E)（改定 第 12 版） Common interconnection interface Between IMS operator's networks (English Edition)

⑤ TTC 標準の誤記訂正による改定（参考）

種別	専門委員会名	年月日	制改定及び廃止した標準類の番号とタイトル
標準	セキュリティ	2024.5.29 （WG）	JT-X1710（改定 第 1.2 版） 量子鍵配送ネットワークのセキュリティフレームワーク
			JT-X1710（改定 第 1.1 版） 量子鍵配送ネットワークのセキュリティ要求条件と対策 - 鍵管理
		2024.11.19 （WG）	JT-X1715（改定 1.1 版） 量子鍵配送ネットワークとセキュアストレージネットワークの統合のためのセキュリティ要求条件と対策
	信号制御	2024.12.12 （WG）	JJ-90.28（改定 4.4 版） 緊急通報呼に関する NNI 仕様

別紙３

専門委員会　委員長・副委員長一覧

2025 年 3 月末日現在

部門	専門委員会名	委員長	副委員長
ICT 活用アプリケーション	マルチメディア応用専門委員会	山本　秀樹 （沖電気工業㈱）	芹沢　昌宏 （日本電気㈱）
	コネクテッド・カー専門委員会	千村　保文 （沖電気工業㈱）	鈴木　邦一 （㈱デンソー）
	BSG 専門委員会	山本　秀樹 （沖電気工業㈱）	―
	IoT・スマートシティ専門委員会	山田　徹 （日本電気㈱）	後藤　良則 （日本電信電話㈱）
プラットフォーム	AI 活用専門委員会	宮澤　雅典 （KDDI㈱）	岩崎　順子 （日本電気㈱）
	セキュリティ専門委員会	三宅　優 （KDDI㈱）	安田　幹 （日本電信電話㈱）
	企業ネットワーク専門委員会	須藤　一郎 （岩崎通信機㈱）	―
プロトコル・NW 管理・品質	信号制御専門委員会	吉川　智之 （東日本電信電話㈱）	斉藤　壮一郎 （沖電気工業㈱）
	網管理専門委員会	高呂　賢治 （沖電気工業㈱）	清水　智明 （NTT コムウェア㈱）
	番号計画専門委員会	森田　公剛 （日本電信電話㈱）	夏目　基 （㈱NTT ドコモ）
アーキテクチャ	Network Vision 専門委員会	後藤　良則 （日本電信電話㈱）	―
	IOWN GF 専門委員会	山本　浩司 （日本電信電話㈱）	林　通秋 （KDDI㈱）
	移動通信網マネジメント専門委員会	横田　大輔 （ソフトバンク㈱）	秋元　陽介 （富士通㈱）
	3GPP 専門委員会	横田　大輔 （ソフトバンク㈱）	傳寳　浩史 （日本電気㈱）
トランスポート・アクセス・エリア NW	IoT エリアネットワーク専門委員会	美原　義行 （日本電信電話㈱）	高呂　賢治 （沖電気工業㈱）
	伝送網・電磁環境専門委員会	村上　誠 （日本電信電話㈱）	亀谷　聡一郎 （三菱電機㈱）

	アクセス網専門委員会	岡崎　浩治 （ソフトバンク㈱）	水口　潤 （三菱電機㈱）
	光ファイバ伝送専門委員会	松井　隆 （日本電信電話㈱）	飯塚　哲也 （ソフトバンク㈱）

別紙 4

中期標準化戦略（2024 年度活動報告）

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	マルチメディア応用専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	国内の民間団体の検討結果等に基づき日本企業の海外展開に向けた標準獲得のため、ILE、アクセシビリティ、電子情報健康管理、マシンビジョンに関する国際標準化団体アップストリーム22件（ITU-T寄書22件）を実施。国際標準化動向の情報提供のために、国内向けに、セミナー1件を実施済。
関連する専門委員会または外部組織とその内容	SG16の以下の課題(a)(b)(c)は関連するTTCのグループとの連携を深め、SG16への寄書の国内寄書審議の取りまとめは本委員会で行う。以下では、TTCグループ名を括弧の中に記載。 (a) 課題5　AIによるマルチメディアアプリケーション（AI活用） (b) 課題22　分散電子台帳技術とｅサービス（セキュリティ） (c) 課題27　ITS　（コネクテッドカー）

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	10件程度	22件（SG21）	
	外部会合への 参加・連携状況	ITU-T SG16会合：4月 ASTAP：4月	ITU-T SG16会合：4月 ITU-T SG21会合：1月 ASTAP-36：5月	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	各SWGで設定	なし	
	TS/TR/SR	各SWGで設定	なし	
③ ダウンストリーム	数	各SWGで設定	なし	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	各SWGで設定	１．2024年8月28日にTTCオンラインセミナー「Digital Health Data Exchange」を開催。 ２．6月 画像センシング展セミナーに協力 ３．12月 国際画像機器展セミナーに協力	
	記事投稿、講演会	適宜SG会合の結果報告、ドキュメント作成、ダウンストリームの概要をTTCレポートに寄稿する。	１．TTCレポートSummer号にSG16会合「第3回会合」の記事を寄稿 ２．4月（山梨/日本）、10月（ローエンフェルト/スイス）マシンビジョン標準化国際会議を実施（IVSM）	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	アクセシビリティSWG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• Net119のサービス普及を側面からサポート（相互接続試験の場所提供など） • ITU-T SG16のアクセシビリティに関する寄書調査、問題提起
関連する専門委員会または外部組織とその内容	

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件程度	10件	
	外部会合への 参加・連携状況	・ITU-T SG16会合：4月 ・IPTVアクセシビリティコンソーシアムとの連携	・ITU-T SG16会合：4月（6件） ・ITU-T SG16 WP2会合：8月 ・ITU-T SG21会合：1月（4件）	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS：1件 TR：0件	TS制定：0 TR制定: 0	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・マルチメディア応用専門委員会のセミナーに協力する		
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	ILE-SWG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• 会員企業のビジネスメリットのある国際標準化を推進することとし、新サービスやグローバル展開に向けたアップストリーム活動を継続、国内外への普及の観点から必要に応じて勧告を日本主導で整備 • メンバ間でのILEに関する相互理解を深めるため、イマーシブサービスの事例紹介等をSWGで実施 • セミナー開催による普及促進や、連携強化のための合同会合の開催等を検討 • 情報規格調査会、IPTVフォーラム及びDSCとの連携を継続 • 会員企業の要望に応じてビジネス展開に資するダウンストリームを継続検討
関連する専門委員会または外部組織とその内容	

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	10件程度	16件	
	外部会合への 参加・連携状況	ITU-T SG16会合：4月 – 3件 ITU-T TSAG会合：7月 – 0件 ASTAP：4月 ---------- 1件 ITU FG-MV会合: 6,9,12,3月 – 6件	ITU-T SG16会合：4月 – 4件（ILE：4、IPTV：0） ITU-T TSAG会合：7月 – 0件 ASTAP：5月 ---------- 0件 ITU FG-MV会合: 4,6月 – 12件（4月：7、6月：5）	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS： 1回 TR： 0回	TS制定： TR制定：	H.702ver2を予定
④ プロモーション 普及推進	セミナー	マルチメディア応用専門委員会のセミナーに協力する		
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動予定）

専門委員会・AG名	マシンビジョンSWG

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	・ITU-T SG16 Q5, Q12、Q21のマシンビジョンに関する寄書調査、問題提起 ・JIIA、及びそのアライアンスするマシンビジョン業界団体（G3）での標準化活動と連携 特に、2023年12月5日にドバイで開催のCxO Roundtableにて発表した中期展望を 見据えた活動を推進する。 具体的には、マシンビジョン工業規格「OPC-Machin Vision companion specification」と「GenICam」を関連付けた勧告案を提案する。 ・国際標準化動向の情報提供のための国内向けセミナー
関連する専門委員会または外部組織とその内容	

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件	-2025年1月本会合にて提出	
	外部会合への 参加・連携状況	参加：ITU-T SG16会合 24年4月 ITU-T SG16 WP会合 24年7月 ITU-T SG16会合 25年1月 その他RGM会合 連携：JIIA、G3との連携 ①上記の各ITU会合前に寄書のレビューをリモートで実施 ②国際標準化会議（IVSM） 24年4月、10月F2Fで結果報告、方針整合を実施	参加：ITU-T SG16会合 24年4月 -レンヌ（フランス） 参加2名、リモート5名 ITU-T SG16 WP会合 24年8月 -ジュネーブ 参加2名、5名 ITU-T SG16会合 25年1月 その他RGM会合 - Q5/SG16 24年12月 リモート4名 連携：JIIA、G3との連携 ①上記の各ITU会合前に寄書のレビューをリモートで実施 ②国際標準化会議（IVSM） 24年4月（山梨）、10月F2F（ローエンフェルト/スイス）で結果報告、方針整合を実施済	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準		0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/ 0件/ 0件	
③ ダウンストリーム	数	TS： 回 TR： 回	TS制定： 0回 TR制定： 0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	2件：24年6月 画像センシング展セミナー 24年12月 国際画像機器展セミナー	2件：24年6月 画像センシング展セミナー 24年12月 国際画像機器展セミナー	
	記事投稿、講演会	3件: 24年4月 10月マシンビジョン標準化国際会議（IVSM） 24年6月 画像センシング展パネル展示 24年12月 国際画像機器展パネル展示	4件: 24年4月（山梨/日本）、10月（ローエンフェルト/スイス）マシンビジョン標準化国際会議を実施（IVSM） 24年6月 画像センシング展パネル展示 24年12月 国際画像機器展パネル展示	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	電子情報健康管理SWG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	・Safe Listening勧告の改定、普及。アクセシブル遠隔医療の推進、普及 ・医療用UHD応用関連勧告化の推進。 ・脳情報プラットホーム関連勧告化。脳情報関連の新規テーマの検討 ・AIと保険医療標準化のワッチ ・コロナ関連勧告の検討。
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• TTC-SWG1305'と医療におけるEMCについて協議。

主な活動項目	概況指標	2024度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	7件	
	外部会合への 参加・連携状況	・ITU-T SG16会合：4月	ITU-T SG16会合：4月	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	TS：　回 TR：　回		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・年度内にセミナーを１回開催	2024年8月にTTCオンラインセミナー「Workshop on Digital Health Data Exchange」を開催。	
	記事投稿、講演会	TTCリポート、ITUジャーナル等		

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	コネクテッド・カー専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、以下の標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用：自動車を用いた防災・減災システム(**V-HUB)の社会実装に向けて、他団体と連携し、普及促進のための活動体制を整える** (2) ITSセキュリティ：セキュリティ専門委員会と連携し、**V2Xに関するセキュリティガイドラインの改訂を支援** (3) 広域通信(5Gなど)と狭域通信(DSRC)を活用した都市全般を対象とする事故防止や渋滞解消に向けた**スマートシティにおける課題解決に向けた取り組みの調査** (4) 5GにおけるV2X：5Gを活用したV2Xの標準化動向について、5GMF Connected Vehicle adhocに参加し、意見交換、調査を実施
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• マルチメディア応用専門委員会(SG21) • セキュリティ専門委員会(SG17での連携) • 自動車関連団体との連携(JAMA、JSAE、JASPAR、ITS-Japan、DREAMS FORUM他)

主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	2件	
	外部会合への 参加・連携状況	・CITS ・ASTAP	・CITS(2024年9月) 活動報告 1件 ・ASTAP36(2024年5月) EG-DRMRS 1件	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	ー		
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ・V-HUB利活用ガイドライン改訂	0件/1件/0件 ・V-HUB利活用レポート	
③ ダウンストリーム	数	TS:0件 TR:0件	TS制定:0件 TR制定: 0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	2回 (セミナー、CEATEC2024)	2回 ・CEATECセミナー(2024年10月) ・TTC/CIAJ合同セミナー(2025年3月予定)	
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略 （2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	BSG専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	① 農業・観光・健康管理などの地域課題を解決するICTソリューションを提案することを目的とするアイデアソンを実施 ② 産学官連携プロジェクトを利用した日本のICT技術の新興国普及のためのビジネスモデル形成およびステークスホルダー育成の推進 ③ 産学官連携プロジェクト成果によるAPTレポート「ICTソリューションハンドブック」の改定を継続。改定内容はTTC技術レポートに反映 ④ 新興国の人々とICTエキスパートとの間の知識の橋渡しに焦点を当てたケーススタディのワークショップ・研修を開催 ⑤ 日本も含めたアジア太平洋地域の標準化人材育成のためのワークショップ・研修を開催 ⑥ 過去のパイロットプロジェクトサイトでの異業種間データを共有するプラットホームを維持管理（マレーシアと連携）、新IoTシステム検討
関連する専門委員会または外部組織とその内容	- 関連専門委員会：新規プロジェクトの内容により、個別に相談 - 外部組織： APT、マレーシアMTSFB、タイNBTC、SHAREメンバー --- 標準化提案・プロジェクト・ワークショップ・アイデアソンの検討・実施

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件 ・ASTAP EG BSG（2024年5月予定） - ICTソリューションハンドブック改定提案（マレーシアのケース追加）	1件 ・ ASTAP EG BSG（2024年5月開催） - ICTソリューションハンドブック改定提案（マレーシアのケース追加）	
	外部会合への 参加・連携状況	① アイデアソン開催： 1回 ②-1. APTプロジェクト「マレーシアの医療プロジェクト第2段階」参画 ②-2. 新APTプロジェクト提案の検討 ③. ASTAP： 1回 （2024年5月予定） ④⑤. 研修またはワークショップ： 2回 ①～⑥. SHAREミーティング： 1回	① アイデアソン開催： 1回（11/23,24 タイ カセサート大） ②-1. APTプロジェクト「マレーシアの医療プロジェクト第2段階」提案し、APTの返事待ち。 ②-2. なし ③. ASTAP： 1回 （2024年5月出席） ④⑤. 研修またはワークショップ： 2回 （第1回目 12/9-13、 第2回目 2/3-7） ①～⑥. SHAREミーティング： 0回	項番は、重点取組の番号を示す
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件 / 1件 / 0件 - TR: ICTソリューションハンドブック改定 （マレーシアでのケース追加）	0件/1件/0件 ・TR-1058 第6版 2024/4/12制定	
③ ダウンストリーム	数	TS制定： 0件 TR制定： 0件	TS制定： 0件 TR制定： 0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCセミナー 1回	セミナー 0回	
	記事投稿、講演会	・TTCレポート記事： イベント毎に報告	TTCレポート記事 2件 ASTAP報告／アイデアソン	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	IoT・スマートシティ専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• ITU-T SG20におけるIoT・スマートシティに関する国際標準への**提案活動の推進（寄書提案3件）** • ITU-T SG20における標準化動向の調査および、対応・対策 • オンラインセミナー開催: **委員会活動およびITU-T SG20の標準化動向の情報発信、関連分野の識者の講演** • **外部イベントでの情報発信: Interop Tokyo 2024にて、当委員会およびITU-T SG20の活動紹介実施**
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• 日本OMG ： **デジタルツインに関するオンラインセミナー**を共催予定（2025年2月開催予定）

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2	3	
	外部会合への 参加・連携状況	ITU-T SG20会合 2024年 7月開催予定 ITU-T FG-AI4A会合 開催時期未定	ITU-T SG20会合 2024年7月、2025年1月(開催済) ITU-T FG-AI4A会合 2024年6月(開催済)	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS： 回 TR： 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・TTCセミナー 「IoTスマートシティに関わる標準化・技術動向」 (開催時期未定)	・TTCオンラインセミナー「デジタルツインのグローバル技術動向＆活用事例」（日本OMGと共催、2025年2月20日開催予定）	
	記事投稿、講演会	TTCレポート2件 （会合報告、セミナー報告）	・TTCレポート1件 (SG20会合報告) ・Interop TokyoでTTC名義で講演 「スマートシティの国際標準化から見るデジタルツインとその進化」	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	ICTと気候変動SWG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• 気候変動への適応策、ICT持続可能評価、エネルギー効率測定法に関わるテーマを中心、標準化対応および成果普及を重点的に進める一方で、国内の優良事例（省資源化技術）について寄書化1件。
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• Iot・スマートシティ専門委員会（循環型の持続可能なシティおよびコミュニティの構築）

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	1件	
	外部会合への 参加・連携状況	SG5会合:2回（想定）	SG5会合：6月	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS： 0回 TR： 0回	TS： 0回 TR： 0回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	ー	ー	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告	・TTCレポート活動報告（6月SG5会合報告）	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	AI活用専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	●生成AIを活用したサービスを中心に、生成AI活用のおけるガイドライン、開発者向けガイドラインの動向等の倫理課題と利用者側の注意すべきポイントや利用時注意点等の整理を行う。 • AIのリテラシー向上とAIの普及促進に資することを目指し、生成AIを実現するアーキテクチャの基本調査 • 各SDOでの検討状況に関わる情報の共有 ●生成AIの適用促進を目的に、多様なユースケースの調査を行い、適用されているアーキテクチャやその適用事例の調査を行う。 • 通信が中心となるユースケースの調査から、通信領域におけるAI倫理のケーススタディの調査 ●TTC会員企業にとっての関心領域と思われる、通信関連領域/サービスを中心に、AIを適用したユースケース調査と掘り下げ検討を行う。 • 通信領域へのAI適用時における、具体的課題の推定と検討 • ユーザーNWや電力供給などキャリア通信網以外における課題とその解決へのAI適用検討 • 特定分野の専門家/有識者を招いてのセミナー企画 ・保守員教育 ・原因究明の簡易化 ・ノウハウの伝承
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• 信号制御、Network Vision、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会（2030年を見据えた将来網検討）と共同して、IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への 参加・連携状況	必要に応じて実施	TTA-TTC Collaborative workshop（6/13）	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件（予定しない）	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS： 回 TR： 回	-	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	AI活用に関するセミナーの開催	・TTCオンラインセミナー「生成AIの適用による技術イノベーション」実施（4/18）	
	記事投稿、講演会	必要により検討	未実施	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	セキュリティ専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• **B5G/6G、サプライチェーンセキュリティ、生成AI、メタバース等に関するセキュリティトピックの整理とSG17として取り扱う項目の検討への貢献** • **X.1060（Cyber Defence Centre）のアフリカ諸国等への展開に対する協力とCDC関連の勧告・補足文書作成への貢献** • X. 5G-ctrl（5Gに対するセキュリティ管理策）、および、X. sc-iot（IoTのセキュリティ管理策）の勧告発行への貢献 • X.ra-iot（IoTデバイスのセキュリティリスク解析フレームワーク）の勧告承認に向けた文書作成への貢献 • ITSセキュリティに関し、コネクテッド・カー専門委員会、および、3J（自技会、自工会、JASPAR）と連携し、X.1373の改訂版発行への貢献 • 日本として注力・主導してきたQKD、IoTに関するワークアイテムの勧告化に貢献（QKDに関してはNetwork Vision専門委員会と連携）
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• コネクテッド・カー専門委員会：X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討（3Jとの連携を含む） • Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会：QKDに関わる勧告作成 • IoT・スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会：IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い • マルチメディア応用専門委員会：課題Q.22　分散電子台帳技術とeサービス • 5GMF セキュリティ調査研究委員会：5Gセキュリティに関わる連携

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	• 各SG17会合で10件程度	• 10件（SG17　2024年2～3月会合） • 1件（SG17 e-Plenary、2024年7月会合） • 6件（SG17　2024年9月会合）	
	外部会合への 参加・連携状況	• SG17会合（2024年2～3月、8～9月） • CJK Information Security WG会合（時期未定）	• CJK Security WG（2024年4月）1名参加 • SG17会合　25名（2～3月会合）、20名（9月会合）	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 • サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。	0件 • 2024年度はダウンストリーム以外のTTC標準化案件は無し。	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件 • X.1373（2024/02改訂版合意予定）については、改定内容を確認して標準化検討する。（X.1373: Secure software update capability for ITS communication devices） • 5Gのセキュリティ管理策（2024/02合意予定）については、SG17での勧告化後にTTC標準化を検討する。	3件（改版） • JT-X1710（量子鍵配送ネットワークのセキュリティフレームワーク）、JT-X1712（量子鍵配送ネットワークのセキュリティ要求条件と対策 - 鍵管理）2024年5月29日改版 • JT-X1715（量子鍵配送ネットワークとセキュアストレージネットワークの統合のためのセキュリティ要求条件と対策）2024年11月19日改版	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	• セキュリティに関するセミナ開催（2024/2Q）	• 2024年3月にSecurity Days2024春において、サイバーディフェンスセンター（CDC）に関するセッションを企画し、発表を行った。（発表者4名） • 2024年11月7日に量子フォーラムとの共催でQKDNに関するセミナーを実施	
	記事投稿、講演会	• TTCレポート活動報告、他	• SG17　2～3月会合、7月会合（e-Plenary）、9月会合の結果報告をTTCレポートに寄稿。	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	企業ネットワーク専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• 新型コロナが5類引き下げとなり、オフィスワークとテレワークのハイブリッドな活動に戻りつつあるが、Web会議活用は定着しつつあり、Web会議等の通信技術としてIETFのWebRTC関連RFCの調査を継続する。 • WebRTC以外の新たなテーマに関して、調査・検討を開始する。 • 消防指令システム仕様書の改定に向けた作業（新技術の取り込み、方式の統一化検討）を継続する。
関連する専門委員会または外部組織とその内容	

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への 参加・連携状況			
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	1件/2件/0件 ・消防指令システム仕様書改定（1件） ・WebRTCに関する技術報告書（2件）	1件/3件/0件 ・消防指令システム仕様書(TS-1023 v2.3)改定（1件） ・消防指令システム技術報告書（TR-1106）（1件） ・WebRTCに関する技術報告書（TR-1107、TR-1108）（2件）	
③ ダウンストリーム	数	TS：回 TR：回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー			
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	信号制御専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	**専門委員会** PSTNマイグレーションに係る標準類改訂、TTCセミナー開催 **SIP SWG** 国内ALL-IP化対応の標準（IMS事業者網間相互接続インターフェース等）の改訂 ① 3GPP等の標準化動向/PSTNマイグレーションに係る意識合わせの場の議論動向に留意しながら、IMS事業者網間インタフェースの検討を進める。 ② 委員からの標準化検討要望への対応 **NGN信号アップストリーム SWG** ① SG11：会合へのアップストリーム活動（国内寄書のサポート）
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• Security専門委員会、Network Vision専門委員会（QKDN関連）

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	5件	
	外部会合への 参加・連携状況	SG11:5月会合	SG11 5月会合：日本からの参加 10名 提出寄書5件 QKDN関連2件の新WIの検討を開始 • Q.QKDN_GC（QKDN の汎用制御プロトコル ） • Q.4164rev（QKDNのCkインタフェースのプロトコルの改訂 ） QKDN関連3件の既存WIの議論が進展 • Q.QKDNi_profr（QKDNインタワーキングプロトコルフレームワーク） • Q.QKDNi_KM（QKDNインタワーキングKxiのプロトコル） • Q.QKDN_MK（QKDNマネージャのプロトコル）	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	1件（未定）	5件 JJ-90.27(v9.2) JJ-90.28(v4.3、v4.4) JJ-90.30(v12.0) JJ-90.30(E)(v12.0)	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件（未定）	2件/1件/0件 TS-1018(V7.3) TS-1025(v1.2) TR-1088(v3.1)	
③ ダウンストリーム	数	0件（未定）	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	IP相互接続に関するセミナー（2024/6月）	・TTCセミナー『PSTNマイグレーションに係る標準類制定状況とその進捗について』(2024/6月)	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告（未定） SG11 会合報告（未定）	・標準類制定状況(Summer 2024, Vol.39/No.2) ・SG11会合報告(Autumn 2024, Vol.39/No.3)	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	番号計画専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	1. ITU-T SG2 WP1での検討課題（**IoT番号**、**E.164改訂**、**E.164.1改訂**、**OTT番号**、**キャリアスイッチング/番号ポータビリティ**、番号利用の適正化、IMSI・IIN、各種番号リソースの割当申請、AIを用いた災害マネジメントFGのアウトプット、**番号認証のメカニズム（登録局規定）**等）に対し、会合及び関連するラポータ会合に参加し、動向を注視するとも、特に、番号ポータビリティ、OTT番号に関する寄書提案等に関しては積極的にアップストリーム活動を実施。 2. 国内での番号方式に関する普及活動として、TTCレポート・ITUジャーナル等への投稿、及び、ITU-T研究会講演を実施。
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• 特になし

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	２件	4件（ラポータ会合への提出1件）	
	外部会合への 参加・連携状況	• SG2会合(６月)参加を行い、適宜意見交換も行う。 • Q1/2ラポータ会合（9月）に参加、適宜意見交換も行う。 • SG2会合(９月)参加を行い、適宜意見交換も行う。 • SG2会合(２月)参加を行い、適宜意見交換も行う。	• Q1,2,3/2ラポータ会合（2月）に参加、適宜意見交換も行う。 • SG2会合（3月）に参加、適宜意見交換も行う。 • SG2会合（6月）に参加、適宜意見交換も行う。 • Q2,3/2ラポータ会合（9月）に参加、適宜意見交換も行う。 • Q1/2ラポータ会合（11月）に参加、適宜意見交換も行う。	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 E1120：グローバルリソース申請手順勧告の翻訳	0件/0件/0件 (E1120勧告承認延期のため)	
③ ダウンストリーム	数	0件	TS制定、TR制定: 0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	番号政策・将来番号方式等に関するセミナーの企画によるプロモーションの実施	来年度計画に延期	
	記事投稿、講演会	TTCレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を実施	TTCレポート(夏号)、ITUジャーナル(７月号）、TTCレポート(秋号)、ITUジャーナル(10月号)への投稿、ITU-T研究会 講演(10月)実施による普及活動を実施	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	網管理専門委員会・SWG1501

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• ITU-Tでは5G-RAN、AI、省電力化、ブロックチェーン、スマートオペレーションなどの勧告が予定されており、**Mシリーズの勧告化時期や内容を調査検討**し、TTC標準化に向けた翻訳作業を実施、**JT-M3384「AI拡張テレコム運用管理インテリジェンスレベル(IL-AITOM)」として、年度内に制定予定**
関連する専門委員会または外部組織とその内容	

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への 参加・連携状況	・TMForum関連会合（Action Week、Digital Transformation World等）対応者との連携 ・他関連専門委員会（AI活用専門委員会等）との連携	・TMForum関連会合対応者と連携し、2024.4Q開催予定のセミナーにて業界最新動向を展開予定	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準		-	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件 ・ITU-T SG2 関連のドラフト勧告の動向調査	0件/0件/0件 ・ネットワーク運用管理へのAI適用に関連するドキュメントを中心に、その他、スマートオペレーションやオンサイト関連の制定状況を共有、議論	
③ ダウンストリーム	数	TS：回 TR：回 ・1件（M.3384「Intelligence levels of AI enhanced telecom operation and management (IL-AITOM)」のダウンストリーム完了予定） ・次期制定に向けたダウストリーム対象の選定	TS制定：1回 TR制定：1回 ・1件 （ITU-T M.3384「Intelligence levels of artificial intelligence-enhanced telecom operation and management」をベースに、**JT-M3384「AI拡張テレコム運用管理インテリジェンスレベル(IL-AITOM)」として制定予定** ・次期ダウンストリーム対象について議論中(年度内選定)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・2024年度中に1回開催	・2024.4Qにセミナー開催予定 ※セミナータイトル 「AI活用・オール光ネットワーク時代に向けた運用管理自動化に関する最新動向」	
	記事投稿、講演会	・TTCレポート投稿	-	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	網管理専門委員会・SWG1502

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	JJ-201.01にも関連するITU-T勧告G.107やP.863シリーズの勧告化に伴い，JJ-201.01の改訂に向けた審議を開始．また，映像配信サービスの品質評価技術である勧告P.120Xシリーズの標準化動向や技術拡張に引き続き積極的に寄与．さらに，**自動運転車の遠隔管制室に適用可能な物体認識率推定技術の検討に対し，寄書投稿し積極的に審議に貢献.**
関連する専門委員会または外部組織とその内容	

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1	2	
	外部会合への 参加・連携状況	ITU-T SG12：4月	ITU-T SG12：4月	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0	0	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS：回 TR：回	TS：回 TR：回	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	なし	なし	
	記事投稿、講演会	TTCレポートにSG12会合の結果報告の記事を投稿	TTCレポートにSG12会合の結果報告の記事を投稿	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	Network Vision専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	**専門委員会** • 他専門委員会、AGと連携して、CJK NSA-WGの対処を行う。（今年度も、CJKは未開催） • 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアNWの各専門委員会と連携した検討。 • IOWN関連技術のITU-T勧告化に向けた検討推進。 **NGNアップストリーム SWG** • ITU-T SG13会合への対処方針並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバからの提案調整を実施。 • QKDN、Autonomous NW関連課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を実施。 **Autonomous Network AH** • ITU-T FG AN対応の国内議論/情報共有と、専門委員会を横断した活動を継続。（FG AN活動の終了後、AHを廃止の予定）			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• Security専門委員会（QKDN関連） • 信号制御専門委員会（CJK対応） • 信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会（2030年を見据えた将来網検討） IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を受けてのWI検討			
主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	SG13 :-	8件	
	外部会合への 参加・連携状況	SG13 :-	SG13：7月会合：日本からの出席者20名 3月会合(予定)：新体制発表予定	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	-		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-	量子ICTフォーラムとの共催セミナー 「未来のセキュリティを切り拓く－量子鍵配送とその周辺技術の最新動向 －」（11/7開催）	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告 SG13 会合報告（未定）	・標準類制定状況（Spring Vol.39/No.1） ・SG13会合報告（Summer Vol.39/No.2、Autumn Vol.39/No.3）	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動予定）

専門委員会・AG名	IOWN GF専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	• IOWN関連技術のITU-T勧告化に向けた検討推進と寄書の作成/提出。 • SG13におけるIOWN GF活動の認知度の向上とアップストリームパスの強化（IOWN GF活動やSG13活動方針の紹介） • APN等IOWN GFに関わるアーキテクチャ検討に向けたワークアイテムの提案、議論を進める。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	伝送網・電磁環境専門委員会（SG5、15）、IoT・スマートシティ専門委員会（SG5）、網管理専門委員会（SG12）、Network Vision専門委員会（SG13）、マルチメディア応用専門委員会（~~SG16~~→SG21）、セキュリティ専門委員会（SG17）			
主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	SG13 :3	ITU-T SG13：3件(うち1件は予定)	
	外部会合への 参加・連携状況	-	Y.L2E2net-frm WI合意(7月会合) Y.L2E2net-frm 内容議論(12月中間会合) Y.L2E2net-frm 内容議論(3月会合 予定)	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-	-	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	-	-	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー（IOWN Global Forum活動紹介）（未定）	-	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告（未定） SG13 会合報告（未定）	SG13 会合報告（８月） SG13 会合報告（３月 予定）	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	移動通信網マネジメント専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• TTC内の3GPP専門委員会、Network Vision専門委員会、コネクテッド・カー専門委員会、AI活用専門委員会、国内SDOのARIB、海外SDOのATIS、CCSA、ETSI、TSDSI、TTA、国際標準化団体の3GPP、及び特に移動通信の利用を検討する関連業界団体の間に立ち、標準化を円滑に進めるに当たって必要となる組織間調整やマネジメント会合への参加を始めとしたアクションの実施 • 会合ホスティングや議決権、リーダーシップのバランス等に関わる3GPP Working Procedureの改訂に関する議論のTTC/ARIB間の意見集約と3GPP PCG/OP等への提言			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• 3GPP専門委員会と密に連携し、5G標準化の最新動向に関するTTCセミナーの企画検討			
主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	0件	0件	
	外部会合への 参加・連携状況	・3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回)	・3GPP : TSG Plenary (4回; 6月、9月、12月、3月) PCG/OP会合(2回; 4月、10月)	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS：　0回 TR：　0回	TS制定: 0件 TR制定: 0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	3GPP専門委員会と連携して、2023年に標準化が完了したRel-18に関する勉強会またはTTCセミナーの開催を検討する。	3GPP専門委員会と連携して、次のTTCセミナーの企画検討に着手。	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討	無し	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	3GPP専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• 3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#76, #77, #78, #79を開催し、TSGでの主要課題等の動向を共有しつつ、技術議論する。 • 年4回、ダウンストリーム活動を実施する。3GPPで承認された仕様書をTTC仕様書として制定、3GPP専門委員会会合で承認する。 • 若手人材育成のために、5G主要アイテムや6G動向に関する勉強会やセミナー等を企画し実行していく。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• 移動通信網マネジメント専門委員会等と連携して5G標準の普及促進、及び6Gに向けた標準化推進施策を検討する。			
主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への 参加・連携状況	・3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回) ・3GPP 6G workshop (2024年5月, 2025年3月)	・3GPP　TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#76, #77, #78, #79を開催した	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS/TR　4回 (四半期毎)	ダウンストリーム制定 04月05日制定 (TS 146件、TR 0件) 07月05日制定 (TS 138件、TR 4件) 10月04日制定 (TS 1027件, TR 67件) 01月10日制定 (TS 371件, TR 3件)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	移動通信網マネージメント専門委員会と連携して、2023年に標準化が完了したRel-18に関する勉強会またはTTCセミナーの開催を検討する。	移動通信網マネジメント専門委員会と連携して、次のTTCセミナーの企画検討に着手。	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討する。	無し	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	IoTエリアネットワーク専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	① IoTを活用したインフラモニタリングで利用するセンサーデバイス等の情報モデル標準化検討 ② タイムリーな既存TRの改定や新規作成を実施 ③ IoT推進フォーラムの技術・標準化分科会等との連携継続 ④ SG15合同アップストリーム会合、およびIoT・スマートシティ専門委員会会合に参加し、アップストリーム活動と情報共有実施
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・IoT・スマートシティ専門委員会: 当専門委員会で検討した都市インフラモニタリングをITU-T SG20にて勧告化作業を実施 ・信号制御専門委員会：2030年を見据えた将来網検討 ・AI活用専門委員会：2030年を見据えた将来網検討 ・セキュリティ専門委員会：IoTセキュリティに関する連携 ・Network Vision専門委員会：2030年を見据えた将来網検討

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への 参加・連携状況	SG15：7月会合、SG20：7月会合、SG5：6月会合	SG15：7月会合、SG20：7月会合、SG5：6月会合	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準		JJ-300.10（第2. 3版：改訂） JJ-300.20（第3版：改訂実施中）	Wi-SUN Allianceとの改定MoU締結（9/17）
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ・TR-1052（第3版：改定）	0件/1件/0件 ・TR-1082（第5版：改訂実施中）	
③ ダウンストリーム	数	TS:　回 TR:　回	TS制定: TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	• IoTエリアネットワーク関連の技術/標準化動向に関するセミナー開催（2024/7予定）	・TTCセミナー「能登地震での実際の災害対応と防災技術の最新動向 ～IoTエリアネットワークの技術の観点から～」（7/31） ・TTC・SPEコンソーシアム共催セミナー「Single pair Ethernet（SPE）の最新技術動向」（8/22） ・スマートIoT推進フォーラム・TTC共催セミナー「インフラモニタリングなどIoTにおけるNTN・衛星通信活用ワークショップ」（10/31）	
	記事投稿、講演会	• TTCレポート2件（セミナー報告、TTC標準紹介1件）	・TTCレポート4件（セミナー報告3件、TTC標準紹介1件）	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	伝送網・電磁環境専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	【SWG1301】大容量伝送網の新たな管理技術としてのTransport SDN制御ｱｰｷテクチャのTTC標準化と進展著しいAI/機械学習技術等、新技術の光伝送網適用可能性と国際標準化戦略検討。 【SWG1302】Beyond 400G級高速OTN及び次期高精度時刻同期関連の国際標準動向情報共有と標準化推進、5G/B5Gを支える伝送網に関するTTC標準技術文書化(Flexible OTN等)。 【SWG1305】 通信システム (アグリゲーション装置)の設置状態でのエミッション確認方法のTTC標準化。
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• 光ファイバ伝送およびアクセス網委員会・物理層IFの連携

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への 参加・連携状況	ITU-T SG15 WP3 (2024年7月、2025年3月) ITU-T SG5 WP1 (2024年6月、11月)	ITU-T SG15 WP3 (2024年4月、7月、11月) ITU-T SG5 WP1 (2024年6月)	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	—		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	3件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	4件 【SWG1301】 ・JT-G7702(トランスポートネットワークのSDN制御のためのアーキテクチャ)新規(2024/3Q) ・JT-G7703(ASONアーキテクチャ)新規(2024/3Q) 【SWG1302】 ・JT-G709.1(フレキシブルOTN共通エレメント) 改訂(2024/1Q) ・JT-G709.5(フレキシブルOTN短距離インタフェース) 新規 (2024/4Q) 【SWG1305】	3件 【SWG1301】 ・JT-G7701(トランスポートネットワーク管理)新規(2024/4Q) ・JT-G7702(トランスポートネットワークのSDN制御のためのアーキテクチャ)新規(2024/4Q) 【SWG1302】 ・ JT-G709.1(フレキシブルOTN共通エレメント) 改訂(2024/3Q)	
④ プロモーション 普及推進	セミナー			
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告　【SWG共通】	TTCレポート vol.39 No1:ITU-T SG15 (Transport, Access and Home) 第3回本会合 TTCレポート vol.39 No3:ITU-T SG15 (Transport, Access and Home) 第4回本会合 TTCレポート vol.39 No1:ITU-T SG5 (Environment, climate change and circular economy) 第4回会合 TTCレポート vol.39 No3:ITU-T SG5 (Environment, climate change and circular economy) 第5回会合	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	アクセス網専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	【SWG2401】 • アクセス網を媒体に関係なくメタル、光ファイバによる無線区間以外の有線ネットワーク全般ととらえ、特に次世代移動体網のフロントホール/バックホールにおけるアクセス網の問題点を検討し、必要に応じてITU-T SG15 Q2で議論されている次世代光アクセスシステムへのアップストリーム活動の実施。 • G.hspやG.suppl文書で移動体網の伝送に光アクセスシステムを活用するための個別テーマでの検討が進んでおり、その検討状況について調査し、寄書を行った。 【SWG2402】 • ハイブリッドアクセス網SWGでは、G.fast 等 の新規技術の調査するとともに海外の導入事例等の調査継続した。
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• 5G及び＆Gとの連携を深めるために3GPP専門委員会及び光ファイバ伝送専門委員会の活動を考慮した対応を実施した。

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	ITU-T SG15 WP1 年2回予定（各会合で1件以上）	ITU-T SG15 WP1 (2024年7月):2件 ITU-T SG15 WP1 (2025年3月):〇件	
	外部会合への 参加・連携状況	ITU-T SG15 WP1 (2024年7月と2025年3月)年2回予定	ITU-T SG15 WP1 2024年7月に実施と2025年3月に予定しており、2月に専門委員会を実施する。	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/1件 100G超のアクセス技術の状況を調査し、調査報告書を作成する。	0件/1件/0件 TR-GSup.75 制定の概要の技術レポート	
③ ダウンストリーム	数	TS：回 TR：回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	100G超のアクセス技術の動向についてセミナーを実施することを検討したい。	帆年度は見送りした。	
	記事投稿、講演会			

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	光ファイバ伝送専門委員会

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• **G.652（1.31μm帯シングルモードファイバケーブル）、G.657（低曲げ損失シングルモードファイバケーブル）、G.Suppl.G.65x(SDMファイバのロードマップと標準化項目)、L.341（電柱と架空設備の保守方法）、G.671（光部品とサブシステム）**、G.9730.1/9730.2（センシング向け海底ケーブルシステム）、G.dfos（分布型光ファイバセンシングのインターフェイス）**の新規制改定**、並びに関連寄書の投稿（SG15、2024年7月および2025年3月） • **JT-G654（カットオフシフトファイバケーブル）改訂、およびJT-G959.1改訂（2024/4Q予定）** • 高速大容量通信を支える光通信システム技術の最新動向(2024/1Q)および光線路技術標準(2025/1Q予定)に関するセミナー開催
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• 伝送網電磁環境およびアクセス網委員会・物理層IFの連携 • IEC TC86国内委員・物理層標準の連携

主な活動項目	概況指標	2024年度目標（当初計画時）	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	9件(2025年1月時点)	
	外部会合への 参加・連携状況	-ITU-T SG15 WP2（2024年7月(仮)） -IEC TC86国内委員との連携	-ITU-T SG15 WP2(2024年7月/2025年3月予定) -IEC TC86国内委員との情報共有(適時)	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	JT制改訂：2件 ・JT-G654改訂（2024/4Q） ・JT-G671新規制定もしくはJT-G959.1改訂（2024/4Q）	JT制改訂：3件 ・JT-L250制定（2024/1Q） ・JT-G654改訂（2024/4Q予定） ・JT-G959.1改訂（2024/4Q予定）	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	TTCセミナー ・光線路技術標準の動向と展望など（2024/4Q）	TTCセミナー ・高速大容量通信を支える光通信システム技術の最新動向(2024/1Q) ・光線路技術標準の動向と展望(2025/1Q予定)	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告	TTCレポート(2024年7月SG15会合報告)	

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	国際連携AG(含TSAG対応TF)

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	• ITU-T TSAG会合(1月および9月），ならびにWTSA24（10月）に向け、ITU-T次会期における新規研究課題、体制構築およびWTSA決議、Aシリーズ勧告の制改訂に向けた国内議論継続 • APTにおけるWTSA準備会合（4月，６月，および８月）における日本提案の策定への貢献 • GSC会合（時期未定），CJK会合(時期未定）におけるTTCの戦略報告、新規トピックスの寄書による貢献、動向把握・議論推進			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• 上記に向け、各SG役職者との連携強化			
主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	TSAG(2件）、APT（1件）、GSC(2件）、CJK(2件）	TSAG(0件），APT(28件)	
	外部会合への 参加・連携状況	• ITU-T TSAG会合（6月および1月）に向けて、日本対処方針案策定、日本寄書案作成への協力を行う。 • APT WTSA準備会合（4月予定）に向けて、日本対処方針案策定、日本寄書案作成への協力を行う。 • CJK18会合およびGSC24会合に参加し、TTCの最新活動の報告、重点テーマに対するTTC寄書発表を行う。	• ITU-T TSAG会合（7月）において、日本対処方針案策定 • APT WTSA準備会合（４月，６月，８月）において、日本寄書の審議、ならびに日本対処方針策定 • CJK18会合に参加し、TTCの最新活動の報告、AIに関するTTC内の活動報告を実施。 • GSC24は今年度は未実施。	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件	TS制定: TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー			
	記事投稿、講演会	・TSAG会合報告(2回) ・APT WTSA準備会合報告		

中期標準化戦略（2024年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	技術調査AG

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	・AI、量子暗号通信、グリーン、超高速イーサネット関連からそれぞれ1フォーラムずつ新規に調査対象とした。 ・フォーラムの統合、調査継続困難などの理由で6フォーラムを調査対象から外した。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	• すべての専門委員会から新規調査フォーラムについての提言を受け付けている。 • 調査結果について、企画戦略員会を通じて、各専門委員会へのフィードバックを行った。			
主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	なし	-	
	外部会合への 参加・連携状況	なし		
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	企画戦略委員会中間報告	企画戦略委員会中間報告(12/18実施)	
	記事投稿、講演会	・フォーラム調査報告書 第31版 ・TTC Report 投稿	以下は4Q実施予定 ・フォーラム調査報告書 第31版 ・TTC Report 投稿	

別紙 5-1

寄書審議状況

専門委員会等	寄書数	提案先
マルチメディア応用	222 件	ITU-T SG21(Multimedia)(IPTV, ILE, e-health, アクセシビリティを含む)
コネクテッド・カー	3 件	ASTAP、CITS
BSG	2 件	ASTAP
IoT・スマートシティ	3 件	ITU-T SG20(IoT, smart cities & communities)
ICT と気候変動 SWG	0 件	ITU-T SG5(Environment and circular economy)
セキュリティ	14 件	ITU-T SG17(Security)
網管理	2 件	ITU-T SG12(Performance, QoS & QoE)
番号計画	2 件	ITU-T SG2(Operational aspects)
信号制御	0 件	ITU-T SG11(Protocols and test specifications)
Network Vision	11 件	ITU-T SG13(Future networks (& cloud))
伝送網・電磁環境	19 件	ITU-T SG15(Transport, access and home), ITU-T SG5(Environment and circular economy)
アクセス網	6 件	ITU-T SG15(Transport, access and home)
光ファイバ伝送	16 件	ITU-T SG15(Transport, access and home)
国際連携 AG	0 件	ITU-T TSAG

別紙 5-2

TTC 標準の制改定状況

専門委員会名	制改定年月日 （標準化会議）	制改定した標準の番号とタイトル
信号制御	2024.5.16 （TA146）	JJ-90.27（改定　第 9.2 版） 着信転送サービス（CDIV）に関する NNI 仕様
		JJ-90.28（改定　第 4.3 版） 緊急通報呼に関する NNI 仕様
		JJ-90.30（改定　第 12 版） IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース
IoT エリアネットワーク		JJ-300.10（改定　第 2.3 版） ECHONET Lite 及び IoT アプリケーション向けホームネットワーク通信インタフェース（IEEE802.15.4/4e/4g 920MHz 帯無線）
セキュリティ	2024.8.29 （TA147）	JT-X1715（新規　第 1 版） 量子鍵配送ネットワークとセキュアストレージネットワークの統合のためのセキュリティ要求条件と対策
光ファイバ伝送		JT-L250（新規　第 1 版） 光アクセスネットワークのトポロジ
網管理	2025.2.20 （TA149）	JT-M3384（新規　第 1 版） AI 拡張テレコム運用管理インテリジェンスレベル（IL-AITOM）
伝送網・電磁環境		JT-G709.1（改定　第 2 版） フレキシブル OTN 共通要素

別紙 5-3

（1）仕様書の制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概　　要	仕様書（件）		
			新規	改定	廃止
信号制御	2024.5.16	TS-1018（改定　第 7.3 版） CUG/PNP に関するインタフェース技術仕様	0	1	0
		TS-1025（改定　第 1.2 版） ISUP 情報のカプセル化に関する技術仕様	0	1	0
企業ネットワーク	2024.6.6	TS-1023（改定　第 2.3 版） 消防指令システム － 消防救急無線間共通インタフェース仕様	0	1	0
3GPP	2024.4.5	Release15～17　TSG プレナリ会合承認分	146	0	0
	2024.7.5	Release12～17　TSG プレナリ会合承認分	138	0	0
	2024.10.4	Release8～18　TSG プレナリ会合承認分	1,027	0	0
	2025.1.10	Release8～18　TSG プレナリ会合承認分	371	0	0

（2）技術レポートの制改定状況

専門委員会	制・改・廃 年月日	概　　要	技術レポート（件）		
			新規	改定	廃止
BSG	2024.4.12	TR-1058（改定　第 6 版） 遠隔地域での ICT ソリューション導入に向けたハンドブック	0	1	0
	2024.12.20	TR-1058（第 7 版） 遠隔地域での ICT ソリューション導入に向けたハンドブック	0	1	0
信号制御	2024.5.16	TR-1088（改定　第 3.1 版） IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェースシーケンス／メッセージ例	0	1	0
企業ネットワーク	2024.7.4	TR-1107（新規　第 1 版） WebRTC に関する技術報告書　接続管理編	1	0	0
	2024.12.5	TR-1108（新規　第 1 版） WebRTC に関する技術報告書　データ形式編	1	0	0
IoT エリアネットワーク	2025.1.7	TR-1082（改定　第 5 版） シングル・ペア・イーサネット通信及び直流給電方式についての実装ガイドライン	0	1	0
コネクテッド・カー	2025.2.20	TR-1109（新規　第 1 版） 災害時の自動車を用いた情報通信システム（V-HUB）の利活用ガイドライン～防災、消防システム等の新たな取り組みが効率的に連携するための最近の取り組み～	1	0	0
3GPP	2024.7.5	Release15～17　TSG プレナリ会合承認分	4	0	0
	2024.10.4	Release8～18　TSG プレナリ会合承認分	67	0	0
	2025.1.10	Release8～18　TSG プレナリ会合承認分	3	0	0

別紙 6

（1）標準類ダウンロード状況（専門委員会別 2024/4-2025/3）

順位	専門委員会	DL 回数合計	TOP1	DL 回数	TOP2	DL 回数	TOP3	DL 回数
1	信号制御	22,307	JJ-90.30	2,626	JJ-90.30(E)	748	JJ-90.27	735
2	3GPP	18,607	TS-3GA-36.413(Rel11)v11.8.0	251	TS-3GA-36.459(Rel11)v11.3.0	197	TS-3GA-36.401(Rel11)v11.2.0	112
3	伝送網・電磁環境	17,499	JT-Y1731	1,368	JT-G709	1,171	JS-CISPR-35	967
4	マルチメディア応用	11,809	JT-T30	1,921	JT-H222.0	858	TR-IETF-RFC3984	654
5	企業ネットワーク	10,937	TS-1023	2,521	JJ-21.10	937	JJ-22.11	807
6	光ファイバ伝送	6,608	TR-GSup.39	922	JT-G694.1	782	JT-G657	740
7	網管理	6,378	JT-G652	1,509	TR-1054	641	JJ-201.01	602
8	IoT エリアネットワーク	6,124	JJ-300.10	1,457	TR-1052	651	TR-1064	364
9	oneM2M	4,713	TR-M2M-0009v0.7.0	132	TR-M2M-0001v2.4.1	111	TR-M2M-0001v0.0.5	94
10	アクセス網	3,517	SR-0076	947	TR-1079	481	TS-1000	261
11	セキュリティ	2,623	JT-X1060	2,076	TR-1047	182	JT-X1051	121
12	Network vision	2,445	JT-Y1541	375	JT-I411	103	TR-1014	79
13	番号計画	1,171	SR-0067	517	TR-1104	107	JT-E164 Supplement 2	106
14	移動通信網マネジメント	765	JT-Q931-b	167	JT-Q951.3-b	67	TS-3GB-X.S0013-010-Av1.0	62
15	コネクテッド・カー	727	TR-1068	600	TR-1097	41	TR-1098	24
16	IoT・スマートシティ	159	JT-L1200	91	JT-L1410	68		
17	AI 活用	130	TR-1099	72	TR-1091	58		
18	BSG	104	TR-1058	104				
	合計	116,623						

（2）標準類ダウンロード状況（TOP20　2024/4-2025/3）

	ドキュメント番号	最新版制定日	専門委員会	タイトル	DL 回数
1	JJ-90.30	2024/5/16	信号制御	IMS 事業者網間の相互接続共通インタフェース	2,626
2	TS-1023	2024/6/6	企業ネットワーク	消防指令システム-消防救急無線間共通インタフェース仕様	2,521
3	JT-X1060	2022/4/11	セキュリティ	サイバーディフェンスセンターを構築・運用するためのフレームワーク	2,076
4	JT-T30	2008/5/29	マルチメディア応用	一般交換電話網における文書ファクシミリ伝送手順	1,921
5	JT-G652	2018/5/24	網管理	シングルモード光ファイバ及びケーブルの諸特性	1,509
6	JJ-300.10	2024/5/16	IoT エリアネットワーク	ECHONET Lite 及び IoT アプリケーション向けホームネットワーク通信インタフェース（IEEE802.15.4/4e/4g 920MHz 帯無線）	1,457
7	JT-Y1731	2021/11/11	伝送網・電磁環境	イーサネットの OAM 機能とメカニズム	1,368
8	JT-G709	2011/3/1	伝送網・電磁環境	光伝送網のインタフェース	1,171
9	JS-CISPR-35	2020/5/21	伝送網・電磁環境	マルチメディア機器の電磁両立性　－イミュニティ要求事項－	967
10	JJ-21.10	1989/4/28	企業ネットワーク	PBX等アナログインタフェース（SR方式）	937
11	TR-GSup.39	2017/2/10	光ファイバ伝送	光伝送システムの開発と技術的考察	922
12	TR-G8275.1	2017/12/5	伝送網・電磁環境	「ネットワークからフルタイミングサポートでの位相/時刻同期に関する高精度タイム・プロトコルのテレコムプロファイル」の技術レポート	876
13	JT-I430	2000/2/1	伝送網・電磁環境	ISDN基本ユーザ・網インタフェース　レイヤ1仕様	867
14	JT-H222.0	2008/8/25	メディア符号化	映像とオーディオの汎用符号化用システム	858
15	JJ-22.11	2016/6/9	企業ネットワーク	企業 SIP 網に接続する SIP 端末⇔サーバ間基本接続インタフェース技術仕様	807
16	JT-G694.1	2012/8/30	光ファイバ伝送	WDM 用途のスペクトル・グリッド：DWDM 周波数グリッド	782
17	JT-G657	2018/5/24	光ファイバ伝送	低曲げ損失シングルモード光ファイバ及びケーブルの諸特性	740
18	JJ-90.27	2024/5/16	信号制御	着信転送サービス（CDIV）に関する NNI 仕様	735
19	JT-G650.1	2022/5/19	光ファイバ伝送	シングルモード光ファイバ及びケーブルの線形特性の定義及び試験方法	725
20	TR-1003	2002/2/20	情報転送	Optical Transport Network（OTN）のインタフェースに関する技術レポート	688

別紙 7-1

TTC 主催セミナー・ワークショップ

No.	名　　称	年月日 （参加者数） （TTC 会員外）	関連専門委員会等
1	【2024 年度情報通信月間参加行事】 TTC セミナー「生成 AI の適用による技術イノベーション」	2024.4.18 （331 名） （TTC 会員外 207 名）	AI 活用
2	【2024 年度情報通信月間参加行事】 TTC セミナー「高速大容量通信を支える光通信システム技術の最新動向」	2024.5.24 （300 名） （TTC 会員外 192 名）	光ファイバ伝送
3	【2024 年度情報通信月間参加行事】 TTA-TTC Collaborative workshop on next-generation experts and key ICT issues（AI/Metaverse）～新興技術における国際ルール形成の課題と次世代のルールメイカー育成 ～	2024.6.13 （120 名） （TTC 会員外 98 名）	企画戦略
4	【2024 年度情報通信月間参加行事】 TTC セミナー「PSTN マイグレーションに係る標準類制定状況とその進捗について」	2024.6.27 （158 名） （TTC 会員外 78 名）	信号制御
5	【2024 年度情報通信月間参加行事】 TTC セミナー「能登地震での実際の災害対応と防災技術の最新動向 ～IoT エリアネットワークの技術の観点から～」	2024.7.31 （213 名） （TTC 会員外 143 名）	IoT エリアネットワーク
6	TTC・SPE コンソーシアム共催セミナー 「Single pair Ethernet（SPE）の最新技術動向」	2024.8.22 （199 名） （TTC 会員外 137 名）	業際イノベーション本部、IoT エリアネットワーク
7	TTC オンラインセミナー 「Workshop on Digital Health Data Exchange」	2024.8.28 （75 名） （TTC 会員外 50 名）	マルチメディア応用
8	スマート IoT 推進フォーラム・TTC 共催セミナー「インフラモニタリングなど IoT における NTN・衛星通信活用ワークショップ」	2024.10.31 （282 名） （TTC 会員外 147 名）	業際イノベーション本部、IoT エリアネットワーク、Network Vision

9	量子フォーラム、TTC 共催オンラインセミナー「未来のセキュリティを切り拓く一量子鍵配送とその周辺技術の最新動向 ー」	2024.11.7 （210 名） （TTC 会員外 147 名）	セキュリティ、Network Vision
10	TTC オンライン Workshop「第 5 回 ITU AI/ML in 5G Challenge 日本ラウンド受賞者による AI 活用研究の発表について」	2024.11.29 （87 名） （TTC 会員外 46 名）	Network Vision
11	IPSJ・TTC 共催セミナー「宇宙×ICT をデータ処理と通信、標準化の視点から」	2025.1.17 （478 名） （TTC 会員外 319 名）	企画戦略
12	TTC 標準化人材育成セミナー「国際標準化会合の参加に向けて」	2025.2.12 （97 名） （TTC 会員外 62 名）	受託案件
13	TTC・日本 OMG 共催セミナー「デジタルツインのグローバル技術動向＆活用事例」	2025.2.20 （205 名） （TTC 会員外 130 名）	IoT・スマートシティ
14	TTC オンラインセミナー「AI 活用・オール光ネットワーク時代に向けた運用管理自動化に関する最新動向」	2025.2.26 （257 名） （TTC 会員外 136 名）	網管理
15	CIAJ/TTC 共催セミナー「コネクテッドカー防災、消防システム等の新たな取り組みが効率的に連携するための最近の取り組み」	2025.3.17 （150 名） （TTC 会員外 90 名）	コネクテッド・カー

別紙 7-2

他機関主催セミナー・ワークショップへの後援・協賛

No.	名　　称	年月日	主　催	種別
1	第 56 回世界情報社会・電気通信日のつどい	2024.5.17	一般財団法人日本 ITU 協会	後援
2	日本 OMG オンラインセミナー「2025 年生成 AI 時代のリスキリングによる学習革命」	2024.5.22	一般社団法人日本 OMG	後援
3	HATS セミナー2024	2024.5.24	HATS フォーラム	協賛
4	連続セミナー2024「情報技術の新たな地平：AI と量子が導く社会変革」	2024 年 6 月から 12 月にかけて全 12 回シリーズで開催	一般社団法人情報処理学会	協賛
5	ITU AI/ML in 5G Challenge Japan Round	2024.9.6	ITU	後援
6	JAPAN Security Summit2024	2024.10.22～11.10	JAPANSecuritySummit 2024 実行委員会	共催

別紙 7-3

展示会等への後援・出展・講演

No.	名　称	年月日	開催場所	種別
1	ワイヤレスジャパン 2024 x ワイヤレス・テクノロジー・パーク(WTP)2024	2024.5.24～26	東京ビッグサイト	後援
2	Interop Tokyo2024	2024.6.14～16	幕張メッセ	後援、講演
3	CEATEC 2024	2024.10.15～18	幕張メッセ	出展、講演
4	Security Days Fall 2024	2024.10.16（大阪）、 22～25(東京)、 29(名古屋)	JP タワーホール＆カンファレンス他	後援

別紙８

2024 年度受賞者一覧

１ 情報通信技術賞 総務大臣表彰

該当者なし

２ 情報通信技術賞 TTC 会長表彰

（1）「電子書籍向けとして初のＷ３Ｃ勧告となる「ＥＰＵＢ ３．３」の策定にかかわる功績」
株式会社KADOKAWA 高見 真也 殿

（2）「ＤＤｏＳ対策プロトコルの標準化にかかわる功績」
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 西塚 要 殿

（3）「インターネットのドメインネームシステムの標準化にかかわる功績」
株式会社日本レジストリサービス 藤原 和典 殿

（4）「移動通信ネットワークアーキテクチャ関連の標準化活動にかかわる功績」
株式会社NTTドコモ 巳之口 淳 殿

（5）「無線ＬＡＮの標準化及び普及にかかわる功績」
株式会社SRCソフトウェア 森岡 仁志 殿

３ 功 労 賞

（1）「PSTNマイグレーションに関する事業者間議論の国内標準仕様反映にかかわる功績」
東日本電信電話株式会社 青木 祐介 殿

（2）「PSTNマイグレーションに関する発信者情報パラメータ仕様の明確化にかかわる功績」
ソフトバンク株式会社 屋野 理沙 殿

（3）「伝送網の装置機能及び管理に関する標準化の推進にかかわる功績」
三菱電機株式会社 斧原 聖史 殿

（4）「情報通信関係のフォーラムに関する調査研究活動にかかわる功績」
元 KDDI株式会社 鬼頭 孝嗣 殿

（5）「IoT・スマートシティ技術に関するにかかわる功績」
日本電信電話株式会社 後藤 良則 殿

（6）「IoTエリアネットワーク技術に関する標準化の推進にかかわる功績」
西日本電信電話株式会社 近藤 重邦 殿

（7）「IPTVに関する標準化の推進にかかわる功績」
元 日本放送協会 斎藤 恭一 殿

（8）「伝送網の多重分離インタフェースと網同期に関する標準化活動にかかわる功績」
日本電気株式会社 佐藤 智昭 殿

（9）「通信サービス品質評価に関する標準化活動にかかわる功績」

岩崎通信機株式会社　須田　一哉　殿

（10）「AI活用における技術レポートに関する検討と制定にかかわる功績」

株式会社東光高岳　中山　匡　殿

（11）「光ファイバケーブルに関する標準化活動にかかわる功績」

通信電線線材協会　新山　勇樹　殿

（12）「光ファイバシステムに関する標準化活動にかかわる功績」

住友電気工業株式会社　松元　健悟　殿

（13）「アクセス網システムに関する標準化の推進にかかわる功績」

三菱電機株式会社　水口　潤　殿

（14）「Autonomous Network Adhocに関する運営と勧告制定にかかわる功績」

沖電気工業株式会社　山本　秀樹　殿

（15）「通信ネットワーク運用管理に関する標準化活動にかかわる功績」

三菱電機株式会社　吉田　聡太　殿

（16）「若手標準化人材育成に繋がる3GPP勉強会施策にかかわる功績」

団体名　3GPP勉強会　殿

（代表者　中野　裕介　殿）

（代表者　住田　正臣　殿）

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	高橋　智彦　殿	KDDI株式会社	福井　良平　殿
株式会社NTTドコモ	阿部　元洋　殿	シャープ株式会社	泉　晶貴　殿
株式会社NTTドコモ	石神　美穂　殿	シャープ株式会社	菅原　靖夫　殿
株式会社NTTドコモ	奥田　兼三　殿	シャープ株式会社	千葉　周一郎　殿
株式会社NTTドコモ	鶴田　公隆　殿	スカパーJSAT株式会社	小川　宗晃　殿
株式会社NTTドコモ	土尻　俊輔　殿	ソフトバンク株式会社	高須　直人　殿
株式会社NTTドコモ	錦織　和樹　殿	ソフトバンク株式会社	横田　大輔　殿
株式会社NTTドコモ	宮﨑　祐哉　殿	デロイト トーマツ サイバー合同会社	松本　昇　殿
エリクソン・ジャパン株式会社	本多　美雄　殿	日本電気株式会社	傳寳　浩史　殿
沖電気工業株式会社	山本　秀樹　殿	華為技術日本株式会社	住田　正臣　殿
KDDI株式会社	岡田　拓也　殿	富士通株式会社	相川　慎一郎　殿
KDDI株式会社	齋藤　幸寿　殿	富士通株式会社	三田　貴子　殿
KDDI株式会社	中野　裕介　殿	三菱電機株式会社	上吉川　直輝　殿
KDDI株式会社	中村　勇海　殿	三菱電機株式会社	大賀　正夫　殿
KDDI株式会社	野口　拓弥　殿		

4 感 謝 状

（1）「永年にわたる情報通信技術賞の受賞者の選考にかかわる功績」

東京大学　名誉教授　　齊藤　忠夫 殿

（2）「永年にわたる情報通信技術賞の受賞者の選考にかかわる功績」

東京大学　名誉教授　、早稲田大学　名誉教授　　安田　靖彦 殿